

---

**Multi LABELIST Preview Component**

**リファレンスマニュアル**

**Ver.5.9.11.0**

**(JavaScript 編)**

**株式会社サトー**

2022年10月21日

---

## はじめに

この度は、「Multi LABELIST V5 Web Engine」（以下、MLV5 Web Engine）をご購入頂きまして誠にありがとうございます。

MLV5 Web Engine は、弊社製汎用ラベル・タグ発行ソフトウェア「Multi LABELIST V5」（以下 MLV5）の資産を利用し、お客様のシステムにラベル/タグの発行・プレビュー機能を追加する開発支援ツールです。発行機能として「Multi LABELIST Web Component」（以下、MLWebComponent）、プレビュー機能として「Multi LABELIST Preview Component」（以下、MLPreviewComponent）を提供致します。

本マニュアルでは、**プレビュー機能を提供する MLPreviewComponent** について説明しております。MLV5 Web Engine の優れた機能がお客様のお役に立つことを開発者一同心より願っております。

## ご注意

- 本マニュアルの一部または全部を弊社の許可なく複写・複製することは、その形態を問わず禁じます。
  - 本マニュアルの内容は、訂正・改善のため予告なく変更することがあります。
  - 本マニュアルを運用した結果の影響については責任を負いかねますのでご了承下さい。
  - 本マニュアルの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- 
- SATO、Multi LABELIST は、サトーホールディングス株式会社の登録商標または商標です。
  - Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。
  - その他記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

## 目次

はじめに.....	2
ご注意.....	2
<b>第1章 製品情報.....</b>	<b>5</b>
1-1.必要なハードウェア・ソフトウェア.....	6
■サーバ環境.....	6
■クライアント環境.....	6
■サポートプリンタ.....	6
1-2.MLPreviewComponent 機能一覧.....	8
■プロパティ一覧.....	8
■メソッド一覧.....	9
<b>第2章 プロパティ.....</b>	<b>10</b>
2-1.[基本]Setting.....	11
2-2.[基本]LayoutFile.....	13
2-3.[基本]PrnData.....	14
2-4.[基本]PrnDataType.....	15
2-5.[動作]HeaderTailSetting.....	16
2-6.[基本]PrinterCaption.....	17
2-7.[ラベル/タグ]MountColor.....	18
2-8.[ラベル/タグ]MountBorderColor.....	19
2-9.[ラベル/タグ]PrintAreaBorder.....	20
2-10.[コントロール]DisplayHeight.....	21
2-11.[コントロール]DisplayWidth.....	22
2-12.[ページ]Page.....	23
2-13.[ページ]PageCount.....	25
2-14.[表示]Alignment.....	26
2-15.[表示]Zoom.....	28
2-16.[表示]Stretch.....	30
2-17.[表示]Rotation.....	32
2-18.[特殊]LayoutNameCaption.....	34
2-19.[特殊]TotalQtyCaption.....	35
2-20.[特殊]TaxRate.....	36
2-21.[バージョン]Version.....	37
<b>第3章 メソッド・例外.....</b>	<b>38</b>
3-1.[メソッド]Output.....	39
3-2.[メソッド]OutputHeader.....	40
3-3.[メソッド]OutputTail.....	41
3-4.[メソッド]ToDataURL.....	42
3-5.[メソッド]Clear.....	43
3-6.[メソッド]Refresh.....	44
3-7.[メソッド]SetPrnDataField.....	45
3-8.[メソッド]IsColorPrinter.....	47
3-9.[メソッド]エラーNo.一覧.....	48
■例外エラーについて.....	53

<b>第4章 ワンポイントテクニック</b> .....	<b>54</b>
4-1.MLPreviewComponent を利用する .....	55
■画面表示とビットマップ出力について .....	55
■object タグで配置する .....	56
■スクリプト上で宣言する .....	56
■サーバ環境を構築する .....	57
■クライアント環境を構築する .....	57
■プリンタフォント用のフォントファイルを配布する .....	58
4-2.バージョンアップを行う .....	59
■サーバの PreviewComponent を更新する .....	59
■クライアントの PreviewComponent を更新する .....	59
4-3.バージョンを確認する .....	61
■Version プロパティで取得する .....	61
■バージョン確認を行ってバージョンアップを通知する .....	61
■ファイルのプロパティで確認する .....	61
4-4.データを一括で入力する .....	62
■入力順位 .....	62
■データ形式 .....	63
4-5.データを変数名で指定して入力する .....	64
■変数名 .....	64
4-6.プレビュー表示を変える .....	66
■プレビュー表示例 .....	66
■ビットマップファイル出力例 .....	66
4-7.カラープリンタレイアウトを利用する .....	67
■PrinterCaption を指定する .....	67
4-8.発行時に文字や枠線などオブジェクトの色を指定する .....	68
■発行時にオブジェクトの色を指定する .....	68
■色の指定方法 .....	71
4-9.動作設定ファイルを利用する .....	72
<b>第5章 注意事項</b> .....	<b>74</b>
5-1.注意事項 .....	75
■Windows 7 での利用 .....	75
■.NET Framework のバージョンについて .....	75
■サーバサイドアプリケーションでの利用 .....	75
■Aero テーマの利用（表示が崩れる現象） .....	75
■初回起動時・レイアウトファイルロード時の遅延 .....	75
■プリンタフォント利用時の注意 .....	75
■レイアウトファイルの入力定義について .....	75
■レイアウトファイルの連番変数について .....	76
■プレビューの表示結果について .....	76
■Windows フォントの全角スペースが.NET Framework のバージョンによって異なる .....	76
■Windows フォント（WPF）の使用について .....	76

# 第1章

# 製品情報

## 1-1

## 必要なハードウェア・ソフトウェア

■ハードウェア ■ソフトウェア

MLPreviewComponent をご使用いただくには、次のハードウェアとソフトウェアが必要です。

## ■サーバ環境

- ハードウェア Web サーバが動作する環境  
サポートプリンタ（ページ下部に記載）
- ソフトウェア 対応 OS 限定されません。Windows、Linux など。  
Web サーバ 限定されません。IIS、Apache など。

## ■クライアント環境

- ハードウェア 下記対応 OS が動作する環境  
5MB 以上の空き容量を持つハードディスク
- ソフトウェア 対応 OS Windows 11、Windows 10、Windows 8.1  
実行環境 .NET Framework<sup>\*1</sup> 4.5/4.6/4.7/4.8  
ブラウザ Internet Explorer 11<sup>\*2</sup>

<sup>\*1</sup> 実行環境に存在しない場合は、別途.NET Framework のインストールが必要です。（Ver.5.7.0.0 以降は必須）

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/dotnet/framework/install/guide-for-developers>

古いバージョンの.NET Framework を利用すると、MLPreviewComponent が正常に動作しない場合があります。

Microsoft でサポートされているバージョンをご利用ください。

<https://docs.microsoft.com/ja-JP/lifecycle/faq/dotnet-framework>

<sup>\*2</sup> デスクトップ版のみ対応です。Windows ストアアプリ版では動作しません。

## ■サポートプリンタ

## • サトープリンタ（国内）

スキヤントロニクスシリーズ	CL4NX-J 08/12/24、 SG408R-ex/SG412R-ex/SG424R-ex、 SG408R/SG412R/SG424R、SR408/SR412/SR424、 BF408R/BF412R、M-48Pro8/M-48Pro12/M-48Pro24、 MT400e/MT410e、 CL6NX-J 08/12、SG608R/SG612R、MR600e/MR610e、 SG112R/SG112T、MT110w/MR110w、HA212R/HA224R、 GN412T
SATOC シリーズ	ST308R/ST312R、TR400e/TR410e
パートロニクス	RT308R、CF408T
シータシリーズ	CT4-LX DT203/TT203/DT305/TT305
レスブリシリーズ	HC4-LX DT203/TT203/DT305/TT305

	T408v-ex/T412v-ex/R408v-ex/R412v-ex
	T408v/T412v/R408v/R412v
	T408/T412/R408/R412、T8/T12/R8/R12
エヴィシリーズ	EV208R/EV212R
FLEQV	FX3-LX、FX3-LX Plus
ラパンシリーズ	PW208NX/PW208mNX、PW208/PW208m、PW4NX
	PT200m/e/j、PT408e/PT412e
タフアーム	LR408OSR-T、LR412OSR-T

#### • サトープリンタ (海外)

CL4NX 203dpi/305dpi/609dpi、CL408e、CL412e、  
 CL6NX 203dpi/305dpi、CL608e、CL612e、GT408e、GT412e、GT424e、  
 M-84Pro-2、M-84Pro-3、M-84Pro-6、M-5900Rv、CT400、CT410、XL400e、XL410e、  
 MB200i、MB400i、MB410i、CT4-LX DT203/TT203/DT305/TT305、  
 PW208NX/PW208mNX、PW4NX

#### • カラープリンタ

サトー	GHS612R
ネットアンドプリント	LP-812W、NP-ODL8II
ダイオーポスタルケミカル	NPC-122W、NPC-122X
フェニックス	PX509 $\alpha$ 、PX509
キヤノンマーケティングジャパン	LX-D5500、LX-P5500、LX-760、LX-760RF、LX-P1500
エプソン販売	CW-C4020 シリーズ、CW-C6500 シリーズ、 CW-C6000 シリーズ、GP-C831、TM-C7500、 TM-C3500、TM-C3400
カシオ計算機	GE5000-YPOS、N6100、V2500 RPCS
日本エレクトロニクス工業	JP621-LC、JP635-LC、JP600-LC
沖電子工業	Pro1040、Pro1050

## 1-2

## MLPreviewComponent 機能一覧

■プロパティ ■メソッド

MLPreviewComponent で利用できるプロパティ・メソッド・例外の一覧を記載します。

## ■プロパティ一覧

プロパティ名	説明	初期値
<b>基本設定</b>		
Setting	出力先の設定	DSP:
LayoutFile	レイアウトファイルの設定	Default.mllayx
PrnData	印字データの設定	"" (空文字)
PrnDataType	印字データタイプの設定	Tsv
HeaderTailSetting	ヘッダ・テール札の出力有無の設定	False
PrinterCaption	カラープリンタのプリンタキャプション名	"" (空文字)
<b>ラベル/タグ設定</b>		
MountColor	台紙背景色の設定	&H00FFFF80&
MountBorderColor	台紙枠線色の設定	&H00000000& (黒)
PrintAreaBorder	印字可能領域線の設定	TRUE
<b>コントロール設定</b>		
DisplayHeight	表示に必要なコントロール高さの取得	0
DisplayWdith	表示に必要なコントロール幅の取得	0
<b>ページ設定</b>		
Page	表示するページの設定	1
PageCount	ページ数の取得	0
<b>表示設定</b>		
Alignment	表示位置の設定	0 (左詰め、上詰め)
Zoom	拡大率の設定	100
Stretch	画面に合わせて拡大するかどうかの設定	False
Rotation	回転の設定	0 (回転なし)
<b>特殊設定</b>		
LayoutNameCaption	システム変数「レイアウト名」の設定	"" (空文字)
TotalQtyCaption	システム変数「総発行枚数」の設定	0
TaxRate	税率の設定	"" (空文字)
<b>バージョン情報</b>		
Version	バージョン情報の取得	—



## ■メソッド一覧

メソッド名	説明
Output	プレビュー表示
OutputHeader	ヘッダ札のプレビュー表示
OutputTail	テール札のプレビュー表示
ToDataURL	データ URL スキームの取得
Clear	表示・レイアウトデータのクリア
Refresh	コントロールの更新
SetPrnDataField	入力項目の印字データ設定
IsColorPrinter	プリンタタイプの判定

## 第2章

# プロパティ

## 2-1

## [基本]Setting プロパティ

プレビューの出力先を設定、取得します。

## ■書式

MLPreviewComponent.Setting [As String](#)

## ■設定値

出力先	Setting
	説明
画面（コントロール）	DSP:
	画面（コントロール上）にプレビューを表示します。
ビットマップファイル	BMP: BitmapFilePathName,[BitmapFileMode]
	ビットマップファイルに保存します。
	BitmapFilePathName   ビットマップファイルパス
	[BitmapFileMode]       ビットマップの大きさ[省略可] 0（初期値）：コントロールサイズに従う。 1            ：ラベル/タグのプレビューサイズに従う。

## ■解説

- BitmapFilePathName でファイル名に「\*」または「?」を指定すると、複数ページ分のプレビューが出力できます。  
     「\*」はページ番号に応じた桁数、「?」はゼロ補填された指定の桁数で、ページ番号が付加されます。  
     「\*」と「?」は同時に使用することは出来ません。

## ■使用例

画面にプレビューを表示する場合

```
MLPreviewComponent.Setting = "DSP:";
MLPreviewComponent.Output;
//プレビューが画面に表示されます。
```

先頭1ページのみ保存する場合

```
MLPreviewComponent.Setting = "BMP:C:¥¥Label.bmp";
MLPreviewComponent.Output;
//C:¥¥Label.bmp が作成されます。
```

複数ページ保存する場合（「\*」指定、コントロールサイズに合わせる）

```
MLPreviewComponent.Setting = "BMP:C:¥¥Label*.bmp,0";
MLPreviewComponent.Output;
//次のファイルが作成されます。
//C:¥¥Label1.bmp、C:¥¥Label2.bmp…C:¥¥Label10.bmp、C:¥¥Label11.bmp…
```

複数ページ保存する場合（「?」指定、ラベルサイズに合わせる）

```
MLPreviewComponent.Setting = "BMP:C:¥Label??.bmp,1";
MLPreviewComponent.Output;
//次のファイルが作成されます。
//C:¥Label01.bmp、C:¥Label02.bmp…C:¥Label10.bmp、C:¥Label11.bmp…
//C:¥Label99.bmp - ページ数が指定桁数を越えた場合はそこで終了となります。
```

#### ■関連項目

プロパティ      [Page](#)  
メソッド        [Output](#)

#### ■サポート情報

ワンポイントテクニック      [画面表示とビットマップ出力について](#)

**2-2****[基本]LayoutFile プロパティ**

MLV5 で作成したレイアウトファイルを設定・取得します。

**■書式**MLPreviewComponent.LayoutFile [As String](#)**■設定値**

<i>LayoutFile</i>	説明
任意文字列	レイアウトファイルのローカルファイルパス

**■解説**

- 本設定値が変更されても、Output メソッドが実行されるまでは画面に表示されているプレビューは変更されません。

**■例外**

- JavaScript での例外処理は try…catch で実行してください。Error オブジェクトの message プロパティにメッセージが格納されます。

例外	説明 (message)
ArgumentException	条件：不正な設定値 メッセージ：The value of LayoutFile property is invalid.

**■使用例**

```
//レイアウト情報ファイルパスを設定します。
MLPreviewComponent.LayoutFile = "C:¥¥SATO¥¥ABC.mllayx";
//現在のレイアウト情報ファイルを取得します。
LayoutFile = MLPreviewComponent.LayoutFile;
```

**■関連項目**

プロパティ      [PrnData](#)  
メソッド        [Output](#)

## 2-3

## [基本]PrnData プロパティ

印字データを設定、取得します。

## ■書式

MLPreviewComponent.PrnData *As String*

## ■設定値

<i>PrnData</i>	説明
任意文字列	PrnDataType プロパティのデータ形式で指定します。文字フォーマットは MLV5 準拠で Unicode(UTF-16)となります。

## ■解説

- バーコードにチェックデジットを含めたデータを指定する際は、チェックデジットが正しいかお客様のアプリケーションで必ずチェックした上で指定してください。チェックが出来ない場合は、チェックデジットを含まないデータに変更するか、変数の設定でチェックデジット部分を取り除くようにレイアウトファイルを変更してください。
- データの項目数は、レイアウトファイルの入力項目数に合わせて指定してください。
- 本設定値が変更されても、Output メソッドが実行されるまでは画面に表示されているプレビューは変更されません。
- LayoutFile プロパティにレイアウトファイル名をセットした時点で初期化されます。
- SetPrnDataField メソッドは本設定の値を変更するメソッドです。混乱を防止するため SetPrnDataField メソッド使用時は本設定を使用しないでください。
- PrnDataType が Tsv または Prn の場合は、対応する区切り文字を印字データに含めることはできません。

## ■使用例

印字データを設定します。

```
MLPreviewComponent.PrnDataType = 0;
MLPreviewComponent.PrnData = "1000" + "¥t" + "2000" + "¥t" + "1";
```

## ■関連項目

プロパティ            [LayoutFile](#)  
 メソッド            [Output](#)、[SetPrnDataField](#)

## ■サポート情報

ワンポイントテクニック    [データを一括で入力する](#)

## 2-4

## [基本]PrnDataType プロパティ

印字データのタイプ(Tsv/Csv/Prn)を設定、取得します。

## ■書式

MLPreviewComponent.PrnDataType [As Integer](#) / [SATO.MLPreviewComponent.PrnDataTypes](#)

## ■設定値

<i>PrnDataType</i>	説明
0 - PrnDataTypes.Tsv(初期値)	タブ区切り指定
1 - PrnDataTypes.Csv	カンマ区切り指定 (CSV 形式)
2 - PrnDataTypes.Prn	スペース区切り

## ■解説

- QR コード等のバーコードデータに制御コードを含める場合は、レイアウトの入力変数種類を「16 進文字コード」に設定し、上位アプリからは 16 進文字列のデータをセットしてください。(例：12345<TAB>の場合、「313233343509」をセット)

## ■例外

- JavaScript での例外処理は try…catch で実行してください。Error オブジェクトの message プロパティにメッセージが格納されます。

例外	説明 (message)
ArgumentOutOfRangeException	条件：範囲外の設定値 メッセージ：The value of PrnDataType property is invalid.

## ■使用例

印字データのタイプに TSV を設定します。

```
MLPreviewComponent.PrnDataType = 0;
```

## ■関連項目

プロパティ [PrnData](#)  
メソッド [SetPrnDataField](#)

## 2-5

## [動作]HeaderTailSetting プロパティ

ヘッダ・テール札の印字有無を設定・取得します。

## ■書式

MLPreviewComponent.HeaderTailSetting [As Boolean](#)

## ■設定値

<i>HeaderTailSetting</i>	説明
false (初期値)	ヘッダ・テール札は出力しません。
true	レイアウトの設定に従いヘッダ・テール札を出力します。

## ■解説

- 「True」を指定した場合で、レイアウトの設定が「ページごとに出力する」に設定されている場合は、Output ごとにヘッダ・テール札を出力します。

## ■使用例

レイアウトの設定に従いヘッダ・テール札を出力します。

```

MLPreviewComponent.LayoutFile = "C:¥¥SATO¥¥ABC.mllayx";
MLPreviewComponent.SetPrnDataRow(0, "商品 A" + "¥t" + "1");
MLPreviewComponent.SetPrnDataRow(1, "商品 B" + "¥t" + "2");
MLPreviewComponent.SetPrnDataRow(2, "商品 C" + "¥t" + "1");
MLPreviewComponent.SetPrnDataRow(3, "商品 D" + "¥t" + "1");
MLPreviewComponent.HeaderTailSetting = true; //レイアウトの設定に従いヘッダ・テール札を出力
var result = MLPreviewComponent.Output(); //プレビュー処理
if ( result != 0 ) {
    //発行エラー
}

```

## ■関連項目

プロパティ            [LayoutFile](#)、 [PrnData](#)  
メソッド             [Output](#)



## 2-6

## [基本]PrinterCaption プロパティ

カラープリンタレイアウトのプリンタキャプション名を設定、取得します。

## ■書式

MLPreviewComponent.PrinterCaption [As String](#)

## ■設定値

<i>PrinterCaption</i>	説明
任意文字列	プリンタキャプション名（プリンタドライバ名）を設定、取得します。 文字フォーマットは MLV5 準拠で Unicode(UTF-16)となります

## ■解説

- 本設定値が変更されても、Output メソッドが実行されるまでは画面に表示されているプレビューは変更されません。
- 本設定値を省略した場合、レイアウトファイルに保持されたプリンタキャプション名が使用されます。
- 指定されたプリンタドライバのモデル名がレイアウト設計時と同一のときは、レイアウト設計時の用紙サイズ、用紙方向、用紙トレイ、解像度が使用されます。
- 下記の場合は、Output メソッドの戻り値がエラーNo.4 となります。
  - ①サポートプリンタではないプリンタキャプション名を指定した場合
  - ②指定したプリンタキャプション名に該当するプリンタドライバがない場合
- サトープリンタレイアウトのプレビュー時には使用されません。

## ■使用例

```
//プリンタキャプション名を設定します。
MLPreviewComponent.PrinterCaption = "SATO XXXX XXXX";
//プレビューを実行します。
MLPreviewComponent.Output();
```

## ■関連項目

メソッド [Output](#)

## ■サポート情報

ワンポイントテクニック [カラープリンタレイアウトを利用する](#)

## 2-7

## [ラベル/タグ]MountColor プロパティ

ラベル台紙の背景色を設定、取得します。

## ■書式

MLPreviewComponent.MountColor [As System.Drawing.Color](#)

## ■解説

- 本設定の変更は画面に表示されているプレビューに直ちに反映されます。

## ■使用例

```
//台紙色を青色に設定します。
```

```
MLPreviewComponent.MountColor = parseInt("FF0000",16);
```

## ■関連項目

プロパティ [MountBorderColor](#)

メソッド [Output](#)

## ■サポート情報

ワンポイントテクニック [プレビュー表示を変える](#)

**2-8****[ラベル/タグ]MountBorderColor プロパティ**

台紙の枠線の色を設定、取得します。

**■書式**

MLPreviewComponent.MountBorderColor [As System.Drawing.Color](#)

**■解説**

- 本設定の変更は画面に表示されているプレビューに直ちに反映されます。

**■使用例**

```
//台紙境界色を黒に設定します。
```

```
MLPreviewComponent.MountBorderColor = parseInt("FF0000",16);
```

**■関連項目**

プロパティ [MountColor](#)

メソッド [Output](#)

**■サポート情報**

ワンポイントテクニック [プレビュー表示を変える](#)

**2-9****[ラベル/タグ]PrintAreaBorder プロパティ**

印字可能領域境界線の表示/非表示を設定、取得します。

**■書式**MLPreviewComponent.PrintAreaBorder [As Boolean](#)**■設定値**

<i>PrintAreaBorder</i>	説明
true (初期値)	印字可能領域境界線を表示します。
false	印字可能領域境界線を表示しません。

**■解説**

- 印字可能領域境界線とは、プリンタが印字可能な領域を表す補助線です。
- 本設定の変更は画面に表示されているプレビューに直ちに反映されます。

**■使用例**

```
//印字可能領域境界線を非表示にします。  
MLPreviewComponent.PrintAreaBorder = false;
```

**■関連項目**メソッド [Output](#)**■サポート情報**ワンポイントテクニック [プレビュー表示を変える](#)

## 2-10

## [コントロール]DisplayHeight プロパティ

プレビュー表示に必要なコントロールの高さ(境界線を含む)を取得します。設定はできません。

## ■書式

MLPreviewComponent.DisplayHeight [As Integer](#)

## ■設定値

<i>DisplayHeight</i>	説明
0	画面にプレビュー表示がありません。
整数値	高さを示します。(ピクセル)

## ■解説

- 本設定は、画面にプレビューが表示されている場合のみ有効です。
- Output メソッド実行直後や表示領域が変化するプロパティ (Rotation、Stretch、Zoom) の変更直後に本設定を参照する場合は、Refresh メソッドを実行して画面に強制的に描画してください。

## ■使用例

画面へのプレビュー出力と同時にコントロールの高さをラベル/タグの大きさに合わせます。

```
MLPreviewComponent.Setting = "DSP:";
var result = MLPreviewComponent.Output();
if ( result == 0 ) {
    MLPreviewComponent.Refresh();           //ここで DisplayHeight が更新される
    //コントロールの高さ (object タグの height 属性) を設定する
    MLPreviewComponent.height = MLPreviewComponent.DisplayHeight;
}
```

## ■関連項目

プロパティ            [Rotation](#)、[Stretch](#)、[Zoom](#)、[DisplayWidth](#)  
メソッド              [Output](#)、[Refresh](#)

## 2-11

## [コントロール]DisplayWidth プロパティ

プレビュー表示に必要なコントロールの幅(境界線を含む)を取得します。設定はできません。

## ■書式

MLPreviewComponent.DisplayWidth [As Integer](#)

## ■設定値

<i>DisplayWidth</i>	説明
0	画面にプレビュー表示がありません。
整数値	幅を示します。(ピクセル)

## ■解説

- 本設定は、画面にプレビューが表示されている場合のみ有効です。
- Output メソッド実行直後や表示領域が変化するプロパティ (Rotation、Stretch、Zoom) の変更直後に本設定を参照する場合は、Refresh メソッドを実行して画面に強制的に描画してください。

## ■使用例

画面へのプレビュー出力と同時にコントロールの幅をラベル/タグの大きさに合わせます。

```
MLPreviewComponent.Setting = "DSP:";
var result = MLPreviewComponent.Output();
if ( result == 0 ) {
    MLPreviewComponent.Refresh();           //ここで DisplayWidth が更新される
    //コントロールの幅 (object タグの width 属性) を設定する
    MLPreviewComponent.width= MLPreviewComponent.DisplayWidth;
}
```

## ■関連項目

プロパティ            [Rotation](#)、[Stretch](#)、[Zoom](#)、[DisplayHeight](#)  
メソッド              [Output](#)、[Refresh](#)

## 2-12

## [ページ]Page プロパティ

プレビューを表示するページを設定、取得します。

## ■書式

MLPreviewComponent.Page [As Integer](#)

## ■設定値

Page	説明
1 (初期値)	ページを指定します。
整数値 (1~PageCount)	ページを指定します。

## ■解説

- 本設定の変更は画面に表示されているプレビューに直ちに反映されます。
- 本設定値は Output メソッドが正常に実行されると、「1」に初期化されます。
- Setting プロパティが「BMP:」の場合は使用されません。
- 2 枚以上の発行枚数を指定していても、印字内容が変わらない場合は 1 ページとなります。連番変数で「数値 (レイアウト)」「文字」を利用していると発行枚数分のページが展開されます。

## ■例外

- JavaScript での例外処理は try…catch で実行してください。Error オブジェクトの message プロパティにメッセージが格納されます。

例外	説明 (message)
InvalidOperationException	条件：プレビューデータが存在しない メッセージ：A value of the Page property cannot be set because there is no preview data.
ArgumentOutOfRangeException	条件：範囲外の設定値 メッセージ：The value of the Page property is invalid. This property range from 1 to page count.

## ■使用例

印字データの 2 ページ目を表示します。

```
MLPreviewComponent.LayoutFile = "C:¥¥Layout.mllayx";
MLPreviewComponent.PrnData = "1" + "¥t" + "2";
var result = MLPreviewComponent.Output();
if ( result != 0 ) {
    //プレビュー表示エラー
}
```

```
MLPreviewComponent.Page = 2;
result = MLPreviewComponent.Output();
if ( result != 0 ) {
    //プレビュー表示エラー
}
```

■関連項目

プロパティ            [PageCount](#)  
メソッド              [Output](#)



**2-13****[ページ]PageCount プロパティ**

プレビュー表示可能なページ数を取得します。

**■書式**MLPreviewComponent.PageCount [As Integer](#)**■設定値**

<i>PageCount</i>	説明
0 (初期値)	プレビュー可能なページがありません。
整数値	プレビュー可能なページ数

**■解説**

- 本設定値は Output メソッドが正常に実行されると 1 以上のページ数を返します。

**■使用例**

印字データの最終ページを表示します。

```

MLPreviewComponent.LayoutFile = "C:¥¥Layout.mllayx";
MLPreviewComponent.PrnData = "1" + "¥t" + "2";
//最終ページを表示
var result = MLPreviewComponent.Output();
if ( result != 0 ) {
    //プレビュー表示エラー
}
MLPreviewComponent.Page = MLPreviewComponent.PageCount;
if ( result != 0 ) {
    //プレビュー表示エラー
}

```

**■関連項目**

プロパティ            [Page](#)  
メソッド              [Output](#)

## 2-14

## [表示]Alignment プロパティ

コントロール上のプレビューの表示位置を設定、取得します。

## ■書式

MLPreviewComponent.Alignment [As Integer](#) / [SATO.MLPreviewComponent.AlignmentSettings](#)

## ■設定値

Alignment	説明
0 - mlprvAlignLeftTop (初期値)	左詰め、上詰め
1 - mlprvAlignLeftCenter	左詰め、上下中央揃え
2 - mlprvAlignLeftBottom	左詰め、下詰め
3 - mlprvAlignCenterTop	左右中央揃え、上詰め
4 - mlprvAlignCenterCenter	左右中央揃え、上下中央揃え
5 - mlprvAlignCenterBottom	左右中央揃え、下詰め
6 - mlprvAlignRightTop	右詰め、上詰め
7 - mlprvAlignRightCenter	右詰め、上下中央揃え
8 - mlprvAlignRightBottom	右詰め、下詰め

## ■解説

- 本設定の変更は画面に表示されているプレビューに直ちに反映されます。
- コントロールサイズが変更された場合は設定値が反映されません。Refresh メソッドで再描画するか、Alignment プロパティを再設定してください。

## ■例外

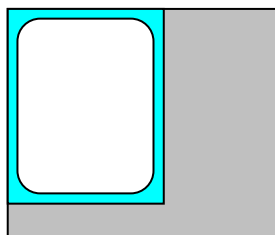
- JavaScript での例外処理は try…catch で実行してください。Error オブジェクトの message プロパティにメッセージが格納されます。

例外	説明 (message)
ArgumentOutOfRangeException	条件：範囲外の設定値 メッセージ：The value of the Alignment property is invalid.

## ■使用例

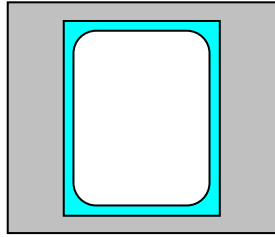
表示位置を左詰め、上詰めに設定します。

```
MLPreviewComponent.Alignment = 0;
```



表示位置を左右中央揃え、上下中央揃えに設定します。

```
MLPreviewComponent.Alignment = 4;
```



■関連項目

メソッド

[Output](#)

## 2-15

## [表示]Zoom プロパティ

プレビュー表示の拡大率を設定、取得します。

## ■書式

MLPreviewComponent.Zoom [As Integer](#)

## ■設定値

Zoom	説明
100.0 (初期値)	拡大率 (%)
任意数値 (0.0~500.0)	拡大率 (%)

## ■解説

- 本設定の変更は画面に表示されているプレビューに直ちに反映されます。
- 本設定値は Stretch プロパティを False に設定した場合のみ、値を設定できます。Stretch プロパティを True に設定すると、コントロールの大きさに依存して内部で自動的に設定され、任意の値に変更することはできません。
- プレビューが画面に表示されているときに本設定を変更すると、再描画時に DisplayHeight、DisplayWidth プロパティが更新されます。

## ■例外

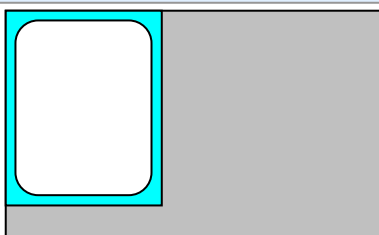
- JavaScript での例外処理は try…catch で実行してください。Error オブジェクトの message プロパティにメッセージが格納されます。

例外	説明 (message)
ArgumentOutOfRangeException	条件：範囲外の設定値 メッセージ：The value of the Zoom property is invalid. This property range from 0 to 500.
InvalidOperationException	条件：Stretch プロパティが True で本設定値を変更 メッセージ：A value of the Zoom property cannot be set because it's be automatically changed to fit the control size.

## ■使用例

拡大率を 100% に設定します。

```
MLPreviewComponent.Stretch = false;
MLPreviewComponent.Zoom = 100;
```



拡大率を 200%に設定します。

```
MLPreviewComponent.Stretch = false;  
MLPreviewComponent.Zoom = 200;
```



#### ■関連項目

プロパティ [Stretch](#)、[DisplayHeight](#)、[DisplayWidth](#)  
メソッド [Output](#)

## 2-16

## [表示]Stretch プロパティ

コントロールサイズに合わせてプレビューの大きさを拡大/縮小するかを設定、取得します。

## ■書式

MLPreviewComponent.Stretch [As Boolean](#)

## ■設定値

Stretch	説明
true	画面に合わせて拡大/縮小する
false (初期値)	画面に合わせて拡大/縮小しない

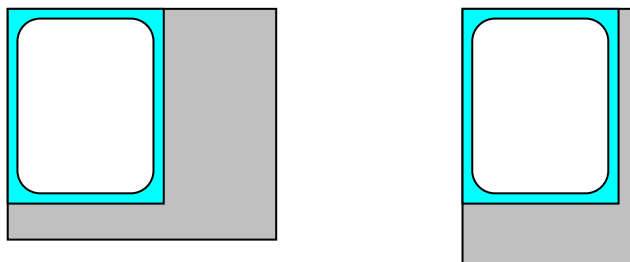
## ■解説

- 本設定の変更は画面に表示されているプレビューに直ちに反映されます。
- 本設定の値を true に設定すると、ラベル/タグがコントロールからはみ出さない最大の大きさで表示されます。
- 本設定を true に設定すると、Zoom プロパティの値はコントロールの大きさに依存して内部で自動的に設定され、任意の値に変更することはできません。本設定を False に設定すると、表示されるラベル/タグの大きさはラベル/タグのサイズと Zoom プロパティに従います。
- プレビューが画面に表示されているときに本設定を false から true に変更すると、再描画時に DisplayHeight、DisplayWidth、Zoom プロパティが更新されます。

## ■使用例

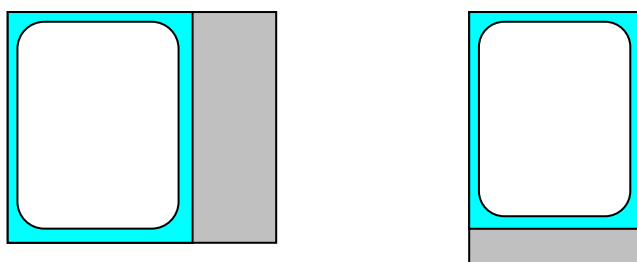
画面に合わせて拡大/縮小しないように設定します。

```
MLPreviewComponent.Stretch = false;
```



画面に合わせて拡大/縮小するように設定します。

```
MLPreviewComponent.Stretch = true;
```



■関連項目

プロパティ            [Zoom](#)、[DisplayHeight](#)、[DisplayWidth](#)  
メソッド             [Output](#)

## 2-17

## [表示]Rotation プロパティ

プレビューの回転表示を設定、取得します。

## ■書式

MLPreviewComponent.Rotation *As Integer* / SATO.MLPreviewComponent.RotationSettings

## ■設定値

Rotation	説明
0 - mlprvRotation0 (初期値)	0° (回転なし)
1 - mlprvRotation90	90°
2 - mlprvRotation180	180°
3 - mlprvRotation270	270°
4 - mlprvRotationLayout	レイアウトファイルに従う

## ■解説

- 本設定の変更は画面に表示されているプレビューに直ちに反映されます。
- 本設定をプレビューが画面に表示されている時に変更すると、再描画時に DisplayHeight、DisplayWidth プロパティが更新されます。また、Stretch プロパティが True に設定されている場合には Zoom プロパティも更新されます。
- 「4 (レイアウトファイルに従う)」の場合は、ML デザインで設定した用紙回転角度で表示します。両面レイアウトのときは表面の設定に従います。

## ■例外

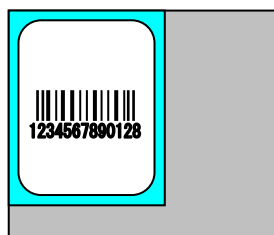
- JavaScript での例外処理は try…catch で実行してください。Error オブジェクトの message プロパティにメッセージが格納されます。

例外	説明 (message)
ArgumentOutOfRangeException	条件：範囲外の設定値 メッセージ：The value of the Roration property is invalid.

## ■使用例

回転を 0° に設定します。

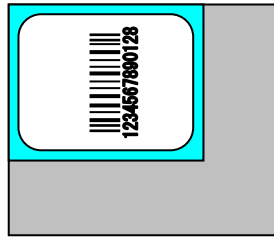
```
MLPreviewComponent.Rotation = 0;
```





回転を 90° に設定します。

```
MLPreviewComponent.Rotation = 1;
```



■関連項目

プロパティ

[Stretch](#)、[DisplayHeight](#)、[DisplayWidth](#)

メソッド

[Output](#)

## 2-18

## [特殊]LayoutNameCaption プロパティ

システム変数「レイアウト名」を設定・取得します。

## ■書式

MLPreviewComponent.LayoutNameCaption [As String](#)

## ■設定値

<i>LayoutNameCaption</i>	説明
空文字(初期値)	LayoutFile プロパティに設定されているレイアウト名を使用します。
任意文字列	システム変数「レイアウト名」に設定する任意文字列かローカルファイルパスを指定します。

## ■解説

- ・ 「ローカルファイルパス」指定の場合、ファイル名のみが「レイアウト名」になります。
- ・ MLV5 のシステム変数「レイアウト名」を使用している場合に、本設定値が使用されます。

## ■使用例

「レイアウト名称」を設定します。

```
MLPreviewComponent.LayoutNameCaption = "C:¥¥SATO¥¥ABC.mllayx";
```

現在の「レイアウト名称」を取得します。

```
LayoutNameCaption = MLPreviewComponent.LayoutNameCaption;
```

## ■関連項目

プロパティ            [LayoutFile](#)、 [TotalQtyCaption](#)  
メソッド             [Output](#)

## 2-19

## [特殊]TotalQtyCaption プロパティ

システム変数「総発行枚数」を設定・取得します。

## ■書式

MLPreviewComponent.TotalQtyCaption *As Integer*

## ■設定値

<i>TotalQtyCaption</i>	説明
任意数値(0 以上)	システム変数「総発行枚数」を指定します。
0	Output メソッド実行時に、総発行枚数を自動計算します。

## ■解説

- MLV5 のシステム変数「総発行枚数」が使用されている場合に、本設定値を使用されます。

## ■例外

- JavaScript での例外処理は try…catch で実行してください。Error オブジェクトの message プロパティにメッセージが格納されます。

例外	説明 (message)
ArgumentOutOfRangeException	条件：範囲外の設定値 メッセージ：The value of TotalQtyCaption property is invalid.

## ■使用例

// 「総発行枚数」を設定します。

```
MLPreviewComponent.TotalQtyCaption = 24;
```

//現在の「総発行枚数」を取得します。

```
TotalQtyCaption = MLPreviewComponent.TotalQtyCaption;
```

## ■関連項目

プロパティ      [LayoutFile](#)  
メソッド        [Output](#)

## 2-20

## [特殊]TaxRate プロパティ

税率を設定・取得します。

## ■書式

MLPreviewComponent.TaxRate *As String*

## ■設定値

<i>TaxRate</i>	説明
任意文字列	税率 1～20 をカンマ区切りで指定（範囲:0～99.9）

## ■解説

- 本設定値は、レイアウトファイルで変数の編集パラメータで設定した税編集で「固定値を使用する」が有効な場合は使用されません。
- 本設定値は、印字条件設定でデータを「税率」に設定した場合にも使用されます。
- 動作設定ファイルの税率が設定されている場合は、本設定値は無効となります。動作設定ファイルの税率および本設定値が両方とも設定されていない場合は、Output メソッドの戻り値が「413」（税計算処理エラー）となります。

## ■例外

- JavaScript での例外処理は try…catch で実行してください。Error オブジェクトの message プロパティにメッセージが格納されます。

例外	説明 (message)
ArgumentOutOfRangeException	条件：範囲外の設定値(税率が 20 以上) メッセージ：The value of TaxRate property is invalid.
	条件：範囲外の設定値(0～99.9 の範囲外) メッセージ：The value of TaxRate property is invalid. This property must be within the range from 0 to 99.9.

## ■使用例

税率 No.1 に「5.0」、税率 No.2 に「8.0」を設定します。

```
MLPreviewComponent.TaxRate =" 5.0,8.0";
```

現在の税率を取得します。

```
TaxRate = MLPreviewComponent.TaxRate;
```

## ■関連項目

プロパティ            [LayoutFile](#)  
メソッド             [Output](#)

**2-21****[バージョン]Version プロパティ**

バージョン情報を取得します。設定はできません。

**■書式**MLPreviewComponent.Version *As String***■設定値**

<i>Version</i>	説明
Version	MLPreviewComponent のバージョンを取得します。

**■使用例**

バージョン情報を取得します。

```
Version= MLPreviewComponent.Version
```

取得結果 : "Multi LABELIST Preview Component, Version 5.2.0.0"

## 第3章

# メソッド

**3-1****[メソッド]Output メソッド**

ラベル・タグをプレビューします。

**■書式**MLPreviewComponent.Output () [As Integer](#)**■戻り値**

戻り値	説明
0	正常終了です。
0 以外	「 <a href="#">エラーNo.一覧</a> 」をご参照ください。

**■解説**

- ラベル/タグのプレビューを Setting プロパティに従って、画面に表示、または、ビットマップファイルに出力します。

**■使用例**

連番印字プレビューを 1 秒毎に更新します。

```

MLPreviewComponent.Setting = "DSP:";
MLPreviewComponent.PrnData = "10";
MLPreviewComponent.Output();

var n = 2;
var resultID = setInterval(function() {
    MLPreviewComponent.Page = n;
    MLPreviewComponent.Refresh();
    n++;
    if (n == MLPreviewComponent.PageCount) {
        clearInterval( resultID );
    }
}, 1000);

```

**■関連項目**

プロパティ            [Setting](#)、[LayoutFile](#)、[PrnData](#)  
メソッド             [Clear](#)、[Refresh](#)

**■サポート情報**

ワンポイントテクニック    [画面表示とビットマップ出力について](#)

**3-2****[メソッド]OutputHeader メソッド**

ヘッダ札をプレビューします。

**■書式**MLPreviewComponent.OutputHeader () [As Integer](#)**■戻り値**

戻り値	説明
0	正常終了です。
0 以外	「 <a href="#">エラーNo.一覧</a> 」をご参照ください。

**■解説**

- 本メソッドは LayoutFile プロパティに設定されたレイアウトファイルで使用されているヘッダ札を発行枚数の指定に関わらず 1 枚のみプレビューします。

**■使用例**

ヘッダ札をプレビューします。

```
MLPreviewComponent.PrnData = "ABCDE" + "¥t" + "1";  
var result = MLPreviewComponent.OutputHeader();  
if ( result != 0 ) {  
    //エラー処理  
}
```

**■関連項目**

プロパティ            [Setting](#)、[LayoutFile](#)  
メソッド             [OutputTail](#)

**■サポート情報**

ワンポイントテクニック    [画面表示とビットマップ出力について](#)



**3-3****[メソッド]OutputTail メソッド**

テール札をプレビューします。

**■書式**MLPreviewComponent.OutputTail () [As Integer](#)**■戻り値**

戻り値	説明
0	正常終了です。
0 以外	「 <a href="#">エラーNo.一覧</a> 」をご参照ください。

**■解説**

- 本メソッドは LayoutFile プロパティに設定されたレイアウトファイルで使用されているテール札を発行枚数の指定に関わらず 1 枚のみプレビューします。

**■使用例**

テール札をプレビューします。

```
MLPreviewComponent.PrnData = "ABCDE" + "¥t" + "1";  
var result = MLPreviewComponent.OutputTail();  
if ( result != 0 ) {  
    //エラー処理  
}
```

**■関連項目**

プロパティ            [Setting](#)、[LayoutFile](#)  
メソッド             [OutputHeader](#)

**■サポート情報**

ワンポイントテクニック    [画面表示とビットマップ出力について](#)

## 3-4

## [メソッド]ToDataURL メソッド

データ URL スキームを取得します。

## ■書式

MLPreviewComponent.ToDataURL (ByVal *Format* As Integer) *As String*

## ■パラメータ

パラメータ	設定値	説明
<i>Format</i>	0 (初期値)	bmp
	1	jpg
	2	png

## ■戻り値

戻り値	説明
データ URL スキーム形式の出力データ	正常に取得しました。
なし	取得に失敗しました。

## ■解説

- コントロール内に表示しているイメージを全て取得します。プレビューデータのみを取得する場合は、コントロールサイズを `DisplayHeight` と `DisplayWidth` で変更し、プレビューを行ってから取得してください。

## ■使用例

データ URL スキームを取得します。

```
MLPreviewComponent.PrnData = "ABCDE" + "¥" + "1";
var result = MLPreviewComponent.Output();
if ( result == 0 ) {
    DataURL = MLPreviewComponent.ToDataURL(2);
}
```

取得結果 : "data:image/png;base64,xxxxx...xxxxx" (xxxx は base64 エンコードデータ)

## ■関連項目

プロパティ            [LayoutFile](#)、[PrnData](#)、[DisplayHeight](#)、[DisplayWidth](#)  
メソッド              [Output](#)

**3-5****[メソッド]Clear メソッド**

プレビューデータを消去します。

**■書式**

MLPreviewComponent.Clear()

**■解説**

- 画面に表示されているプレビューデータを消去し、画面表示用、およびビットマップファイル出力用にロードされているレイアウトデータをメモリから削除します。
- プレビュー表示に使用しているレイアウトファイルの変更をコントロールに反映するためには、Clear メソッドを実行した後、再び Output メソッドを実行してください。

**■関連項目**

メソッド

[Output](#)

**3-6****[メソッド]Refresh メソッド**

コントロールを強制的に更新します。

**■書式**

MLPreviewComponent.Refresh()

**■解説**

- 通常、画面の描画はコードが実行中でないときに自動的に行われますが、時間のかかる処理中などプレビュー画面を強制的に描画する必要がある場合に使用します。
- 以下のプロパティは、画面にプレビューが描画されるときに更新されます。画面出力の Output メソッド実行直後や、プレビューの表示方法を変更するプロパティ（Rotation、Stretch、Zoom）を変更した直後に取得する場合は、本メソッドで画面を更新してください。
  - DisplayHeight プロパティ
  - DisplayWidth プロパティ
  - Zoom プロパティ（Stretch プロパティが true の場合）

**■関連項目**

プロパティ	<a href="#">DisplayHeight</a> 、 <a href="#">DisplayWidth</a> 、 <a href="#">Zoom</a>
メソッド	<a href="#">Output</a>

## 3-7

## [メソッド]SetPrnDataField メソッド

指定した入力項目の印字データを設定します。

## ■書式

MLPreviewComponent.SetPrnDataField

(ByVal Name As String, ByVal Data As String) As Long

## ■パラメータ

パラメータ	設定値	説明
Name	任意文字列	入力項目名称
Data	任意文字列	設定するデータ 文字フォーマットは MLV5 準拠で Unicode(UTF-16)

## ■戻り値

戻り値	説明
0	設定完了しました。
1	レイアウト情報ファイルのロード時にエラーが発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>指定されたレイアウトファイルが存在しません。</li> <li>指定されたレイアウトファイルが開けません。</li> <li>該当する入力項目が存在しません。</li> </ul>
61	レイアウトファイルが MLPreviewComponent より新しいバージョンの MLV5 で作成されています。MLPreviewComponent のバージョンを更新してください。

## ■解説

- 同一名称が複数存在する場合は、入力順で最初の入力項目のみに印字データを設定します。
- LayoutFile プロパティを設定した時点で、印字データはすべてクリアされます。
- バーコードにチェックデジットを含めたデータを指定する際は、チェックデジットが正しいかお客様のアプリケーションで必ずチェックした上で指定してください。チェックが出来ない場合は、チェックデジットを含まないデータに変更するか、変数の設定でチェックデジット部分を取り除くようにレイアウトファイルを変更してください。
- PrnData プロパティと併用する場合は、混乱を避けるため PrnData プロパティを先に指定してください。
- PrnDataType プロパティで指定された形式の区切り文字はデータとして設定しないでください。例として、PrnDataType プロパティが「タブ区切り」の場合に、データ内にタブ (0x08) を入力すると、入力項目の入力順がずれて不正な入力データとなります。
- QR コード等のバーコードデータに制御コードを含める場合は、レイアウトの入力変数種類を「16進文字コード」に設定し、上位アプリからは 16 進文字列のデータをセットしてください。(例：12345<TAB>の場合、「313233343509」をセット)

## ■使用例

各入力名の位置に、印字データをセットします。

```
var result;

result = MLPreviewComponent.SetPrnDataField("品番", "12-34");
if ( result != 0 ) {
    //設定エラー
}

result = MLPreviewComponent.SetPrnDataField("商品 No", "012345");
if ( result != 0 ) {
    //設定エラー
}

result = MLPreviewComponent.SetPrnDataField("取引先名", "サトー");
if ( result != 0 ) {
    //設定エラー
}

result = MLPreviewComponent.SetPrnDataField("発行枚数", "1");
if ( result != 0 ) {
    //設定エラー
}
```

## ■関連項目

プロパティ            [LayoutFile](#)、[PrnData](#)、[PrnDataType](#)  
メソッド             [Output](#)

## ■サポート情報

ワンポイントテクニック    [データを変数名で指定して入力する](#)

**3-8****[メソッド]IsColorPrinter メソッド**

レイアウトファイルのプリンタタイプ(サトープリンタ/カラープリンタ)を取得します。

**■書式**

MLPreviewComponent.IsColorPrinter () [As Boolean](#)

**■戻り値**

戻り値	説明
true	カラープリンタに設定されています。
false	サトープリンタに設定されている、または取得エラーです。

**■関連項目**

プロパティ [LayoutFile](#)

## 3-9

## [メソッド]エラーNo.一覧

メソッドの戻り値でエラーNo.について説明します。

## ■対象メソッド

[Output](#)、[OutputHeader](#)、[OutputTail](#)

## ■エラーNo.一覧

エラー発生時はエラーの内容に応じた対処を行ってください。

戻り値	内容
	詳細
設定エラー：設定値を見直してください。	
1	Setting プロパティの値が不正です。
	Setting プロパティの値をご確認ください。
4	カラープリンタレイアウトのプリンタキャプションが不正です。
	PrinterCaption プロパティの値が、サポートプリンタ機種か、指定した値に該当するプリンタドライバがインストールされているかご確認ください。
ファイルロードエラー：必要なファイルを用意してください。	
51	レイアウト情報ファイルのロード時にエラーが発生しました。
	レイアウトファイル (.mllayx) が存在しないか、読取りが出来ません。リクエストで指定したファイルパスをご確認ください。他のアプリケーションで利用されている場合、アクセス権限がない場合は読取りできません。
	Windows アップデートの不具合により PC のフォント情報が読み取れません。更新プログラムを適用してください。 <a href="https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4074906/">https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4074906/</a>
52	プリンタ情報のロード時にエラーが発生しました。
	レイアウトファイルで使用されているプリンタ機種が現在のバージョンでサポートされていません。MLPreviewComponent をバージョンアップしてください。
57	印字データが無効です。
	PrnDataType プロパティに設定したデータタイプと異なるデータが設定されています。指定しているデータをご確認ください。
61	レイアウトファイルのロード時にエラーが発生しました。
	レイアウトファイルが MLPreviewComponent より新しいバージョンの MLV5 で作成されています。MLPreviewComponent をバージョンアップしてください。
62	グローバル情報ファイルのロード時にエラーが発生しました。
	グローバル情報ファイルが MLPreviewComponent より新しいバージョンの MLV5 で作成されています。MLPreviewComponent をバージョンアップしてください。
63	ヘッド札ファイルのロード時にエラーが発生しました。
	ヘッド札ファイルが MLPreviewComponent より新しいバージョンの MLV5 で作成されています。MLPreviewComponent をバージョンアップしてください。
64	テール札ファイルのロード時にエラーが発生しました。



	テール札ファイルが MLPreviewComponent より新しいバージョンの MLV5 で作成されています。MLPreviewComponent をバージョンアップしてください。
65	グローバルテーブルファイルのロード時にエラーが発生しました。
	グローバルテーブルファイルが MLPreviewComponent より新しいバージョンの MLV5 で作成されています。MLPreviewComponent をバージョンアップしてください。
66	グローバルチェックテーブルファイルのロード時にエラーが発生しました。
	グローバルチェックテーブルファイルが MLPreviewComponent より新しいバージョンの MLV5 で作成されています。MLPreviewComponent をバージョンアップしてください。
100	グローバルファイルのロード時にエラーが発生しました。
	レイアウトに設定されているグローバル情報ファイル (.mlglex) が存在しないか、読取りができません。レイアウトに設定されているファイルパスをご確認ください。他のアプリケーションで利用されている場合、アクセス権限がない場合は読取りできません。
101	ヘッダ札ファイルのロード時にエラーが発生しました。
	レイアウトに設定されているヘッダ札レイアウトファイル (.mlhtlx) が存在しないか、読取りができません。レイアウトに設定されているファイルパスをご確認ください。他のアプリケーションで利用されている場合、アクセス権限がない場合は読取りできません。
102	テール札ファイルのロード時にエラーが発生しました。
	レイアウトに設定されているテール札レイアウトファイル (.mlhtlx) が存在しないか、読取りができません。レイアウトに設定されているファイルパスをご確認ください。他のアプリケーションで利用されている場合、アクセス権限がない場合は読取りできません。
103	グローバル情報ファイルの設定がヘッダ・テール札と一致しません。
	レイアウトとヘッダ・テール札ファイルに設定されているグローバル情報ファイル (.mlgle) の設定をご確認ください。
110	レイアウト情報ファイルの保存時にエラーが発生しました。
	レイアウトファイルの保存ができません。書き込みが禁止されていないかご確認ください。
111	グローバルファイルの保存時にエラーが発生しました。
	グローバルファイルの保存ができません。書き込みが禁止されていないかご確認ください。
150	バーコード描画モジュールが読み込めません。
	①MLPreviewComponent をアンインストールして、再インストールしてください。 ②BCD32.dll を Ver.5.9.2.1 に更新してご確認ください。
152	ヘッダ札のプリンタタイプが一致していません。
	レイアウトとヘッダ札ファイル (.mlhtlx) のプリンタタイプ (サトープリンタ/カラープリンタ) を合せてください。
153	テール札のプリンタタイプが一致していません。
	レイアウトとテール札ファイル (.mlhtlx) のプリンタタイプ (サトープリンタ/カラープリンタ) を合せてください。
<b>例外エラー</b>	
201	プリンタコマンド生成以外の処理で予期しないエラーが発生しました。
	<a href="#">例外エラーについてをご参照ください。</a>
202	プリンタコマンド生成処理中に予期しないエラーが発生しました。

	<a href="#">例外エラーについてをご参照ください。</a>
<b>対象変数エラー：対象となる変数を再度設定し直してください。</b>	
300	日時変数の対象変数検索時にエラーが発生しました。
	日時変数の経過値に設定した変数がレイアウトに存在しません。
301	編集前複写変数の対象変数検索時にエラーが発生しました。
	編集前複写変数の複写対象に設定した変数がレイアウトに存在しません。
302	入力日時変数の対象変数検索時にエラーが発生しました。
	入力日時変数の経過値か位上対象に設定した変数がレイアウトに存在しません。
303	テーブル変換の他変数検索時にエラーが発生しました。
	テーブル変換の変換対象キーに設定した変数がレイアウトに存在しません。
304	プライス丸め変数の対象変数検索時にエラーが発生しました。
	計算変数のプライス丸めで丸め対象に設定した変数がレイアウトに存在しません。
306	プライスチェックCD変数の対象変数検索時にエラーが発生しました。
	計算変数のプライスチェックCDで計算対象に設定した変数がレイアウトに存在しません。
307	クロスチェック変数の対象変数検索時にエラーが発生しました。
	分割変数のクロスチェックで比較対象に設定した変数がレイアウトに存在しません。
308	編集後複写変数の対象変数検索時にエラーが発生しました。
	編集後複写変数の複写対象に設定した変数がレイアウトに存在しません。
309	結合変数の結合子変数検索時にエラーが発生しました。
	結合変数の子項目に設定した変数がレイアウトに存在しません。
310	結合項目の親変数検索時にエラーが発生しました。
	結合変数の親項目となる変数がレイアウトに存在しません。
320	レイアウトに割り付いたローカル変数検索時にエラーが発生しました。
	デザインオブジェクトで設定したローカル変数がレイアウトに存在しません。
321	レイアウトに割り付いたグローバル変数検索時にエラーが発生しました。
	デザインオブジェクトで設定したグローバル変数がレイアウトに存在しません。
<b>編集エラー：発行時動作設定のエラー処理で「グラフィック変換エラー」が有効な場合に発生します。</b>	
330	貼付グラフィックで該当するグラフィックファイルがありません。
	指定されたパスにグラフィックがありません。設定したパスをご確認ください。
332	呼出グラフィックで該当する登録グラフィックがありません。
	指定した No.のグラフィックがグラフィックテーブルに登録されているかご確認ください。
333	変数グラフィックで指定したグラフィックがありません。
	指定先したパスやグラフィック No.に該当するグラフィックがあるかご確認ください。
<b>編集エラー：発行時動作設定のエラー処理で括弧内に記載した設定を有効にした場合に発生します。</b>	
400	日時変数編集時にエラーが発生しました。(日時項目編集エラー)
	日時の計算が出来ません。経過値を確認してください。
403	テーブル変換時にエラーが発生しました。(テーブル変換エラー)
	テーブル一覧に入力値に合致する値がありません。
404	ODBCテーブル変換時にエラーが発生しました。(ODBC テーブル変換エラー)
	テーブル一覧 (ODBC) に入力値に合致する値がありません。

405	プライス丸め計算時にエラーが発生しました。(プライス丸め変換エラー)
	プライス丸め計算が出来ません。丸め対象変数の入力値を確認してください。
406	四則演算計算時にエラーが発生しました。(数式計算エラー)
	四則演算が出来ません。入力値を確認してください。
407	プライスチェックCD計算時にエラーが発生しました。(プライスC/D計算エラー)
	プライスチェックCD計算が出来ません。対象変数の入力値を確認してください。
408	¥・カンマ編集時にエラーが発生しました。(通貨カンマ編集エラー)
	テーブル変換や計算などで¥・カンマを付加するための桁数が足りません。入力値や変数の桁数を確認してください。
409	1文字補填編集時にエラーが発生しました。(1文字補填編集エラー)
	テーブル変換や計算などで1文字補填するための桁数が足りません。入力値や変数の桁数を確認してください。
410	CD計算時にエラーが発生しました。(C/D計算エラー)
	モジュラス11でCD置換をエラー判定にした場合、置換できないCD値の場合にエラーが発生します。入力値を確認してください。
411	特殊編集時にエラーが発生しました。
	特殊編集で利用するDLLや関数が存在しないなど編集情報が足りません。再度設定し直してください。
413	税編集時にエラーが発生しました。(税編集エラー)
	消費税率が設定されていません。TaxRateプロパティを設定してください。
430	条件判定でエラーが発生しました。(条件判定エラー)
	条件変数の条件式で判定結果が計算できません。条件式や対象の変数に正しい値が設定されているかご確認ください。
431	条件判定結果で使用する変数が見つかりません。(条件判定エラー)
	条件変数の判定結果に指定した変数が存在するかご確認ください。
610	用紙に印字できない項目が存在します。(用紙外に指定した項目が存在する場合)
	オブジェクトが用紙外に配置されています。MLデザインでエラーのオブジェクトがないかご確認ください。印字に必要なオブジェクトは属性設定の印字で「印字しない」に設定してください。
<b>描画エラー：発行時動作設定のその他で「画像描画をチェックして黒塗りの場合はエラーメッセージを表示する」を有効にした場合に発生します。</b>	
130	画像描画で黒塗りが発生しました。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Updateの不具合が発生している可能性があります。最新の更新プログラムを適用して改善されるかご確認ください。</li> <li>発行中に「ユーザーの切り替え」やリモートデスクトップ接続により操作するPCが切り替わる場合に発生している可能性があります。Windowsの制限事項になるため、発行中はログインユーザーや操作PCが切り替わるような運用は避けてください。</li> </ul>
<b>プレビュー表示エラー：Settingプロパティが「DSP:」の場合に発生します。</b>	
501	プレビューを表示するためのウィンドウがありません。
	MLPreviewComponentをWindowsフォームやHTMLの画面上に配置してください。ソース

	上でコントロールを生成した場合は「DSP:」は使用できません。
<b>プレビュー出力エラー：Setting プロパティが「BMP:」の場合に発生します。</b>	
503	ビットマップ出力ファイル名が不正です。
	ディレクトリが存在しているか、ファイル名に使用禁止な文字が指定されていないかご確認ください。
504	ディレクトリ作成エラーが発生しました。
	指定先のパスにセキュリティの制限がないかご確認ください。
505	ビットマップファイル作成エラーが発生しました。
	指定先のパスにセキュリティの制限がないかご確認ください。既に存在するファイル名を指定する場合は、ファイルが読み取り専用になっていないかご確認ください。
506	ファイル書き込みエラーが発生しました。
	ディスクの空き容量をご確認ください。
<b>描画エラー：オブジェクトの描画に必要な情報がありません。</b>	
450	条件印字の判定でエラーが発生しました。
	条件印字で指定している入力チェックテーブルのファイルが存在しないか、ファイル内に該当のテーブルが見つかりません。
470	文字の書式タグが不正です。
	開始・終了タグの数が一致しているかなど書式タグの記述方法を確認してください。
471	文字の書式タグとして利用できない変数が設定されています。
	シンボル変数で書式タグ指定は利用できません。文字オブジェクトの変数を変更してください。
472	文字の書式タグが有効の場合は C/D 自動付加は利用できません。
	C/D 自動付加を無効にしてください。
473	文字の書式タグが有効の場合はフォントサイズの幅は任意に設定できません。
	フォントサイズの幅を自動にしてください。
600	レイアウトで使用している Windows フォントがありません。
	発行環境に該当する Windows フォントをインストールしてください。開発環境で一時的に発行テストを行う場合は、動作設定ファイルをご利用ください。動作設定ファイルの詳細は「第 4 章 ワンポイントテクニック」をご参照ください。
601	レイアウトで使用しているバーコードの情報がありません。
	MLPreviewComponent をバージョンアップしてください。
<b>サポート外エラー：プロパティが利用できない組み合わせで設定されています。</b>	
802	発行枚数が指定されていません。
	PrnData プロパティ、SetPrnDataField メソッド、SetPrnDataArray メソッドで入力するデータを確認してください。
806	多面取りカラープリンタレイアウトの用紙サイズエラーです。
	多面取りのカラープリンタレイアウトで、作成時の用紙サイズが PrinterCaption で指定したプリンタドライバで使用できません。
820	レイアウトにヘッダ札が設定されていません。
	ヘッダ札を出力する場合は、発行時動作設定のヘッダ・テール札出力を設定してください。
821	レイアウトにテール札が設定されていません。

	テール札を出力する場合は、発行時動作設定のヘッダ・テール札出力を設定してください。
--	---

## ■例外エラーについて

MLComponent が発行処理中に予期せぬタイミングで OS から例外をキャッチした場合に発生します。特定のレイアウトやデータで再現性が高い場合は、弊社担当営業までご連絡ください。

### • メモリ不足が発生している場合

IE の再起動や発行間隔を空けることでエラーが復旧する場合は、メモリ不足が発生している可能性があります。[動作設定ファイルで「メモリ自動解放」を有効にして](#)、メモリ使用量が安定するかご確認ください。メモリの自動解放で改善されない場合は、タスクマネージャーでアプリケーションのハンドル、GDI オブジェクトなどメモリ使用量を確認して、アプリケーションのロジックを改善してください。

## 第4章

# ワンポイント テクニック

## 4-1

## MLPreviewComponent を利用する

■画面表示と BMP 出力 ■VisualStudio ■Office

## ■画面表示とビットマップ出力について

コントロールの内部では、画面表示用とビットマップファイル出力用にそれぞれ独立してプレビューデータを保持しています。画面にプレビューが表示されている状態で、ビットマップファイルに出力しても、画面に表示されているプレビューには影響しません。

## • Output 時のみ画面に反映されるプロパティ

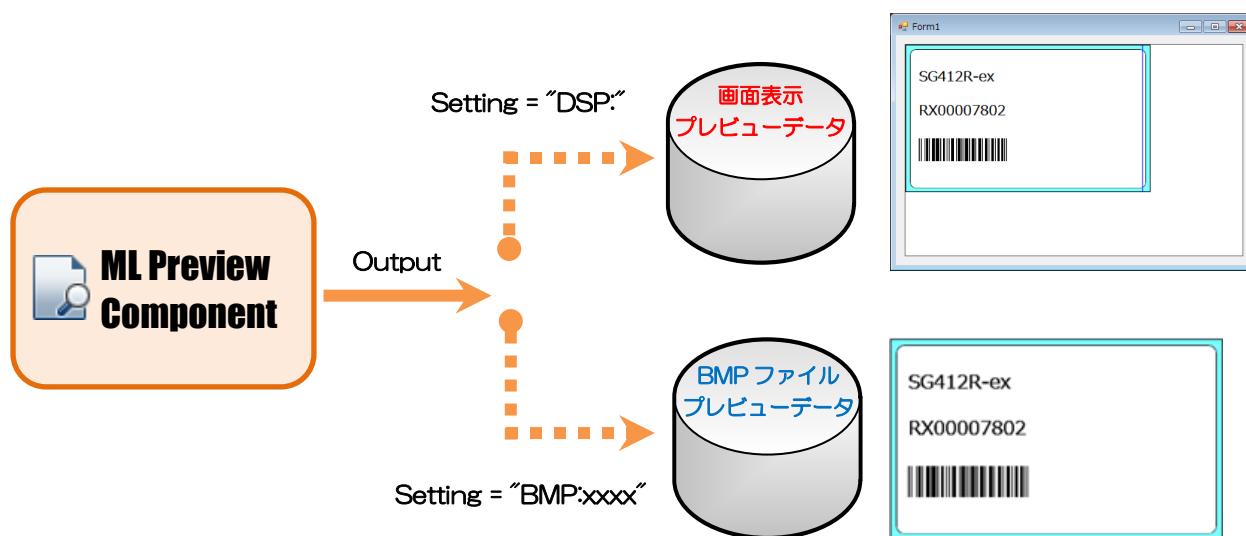
LayoutFile、PrnData、PrnDataType、HeaderTailSetting、PrinterCaption  
LayoutNameCaption、TotalQtyCaption、TaxRate

## • 設定時に直ちに画面に反映されるプロパティ

MountColor、MountBorderColor、PrintAreaBorder  
Page、Aligment、Zoom、Stretch、Rotation

## • ビットマップ出力時に利用されないプロパティ

Page







## ■サーバ環境を構築する

### ① Web サーバ環境を構築します。

MLPreviewComponent は、必要なファイルを公開（ダウンロード）できる Web サーバの環境であれば、サーバの OS やソフトは問いません。

### ② 必須ファイルを配置します。

各ファイルは任意の場所に配置可能です。

配置先は MLPreviewComponent を利用するページに記述してください。

ファイル名	説明	Web ページからの指定方法
PreviewComponent-Installer-ja.exe	MLPreviewComponent インストーラ	HTML の object タグ
*.mllayx	レイアウトファイル	LayoutFile メソッド
*.mlglex	グローバル情報ファイル	(レイアウトから自動的に参照されます。)
*.mltblx	グローバルテーブルファイル	
*.mlchkx	グローバルチェックテーブルファイル	

### ③ Web サーバに MIME タイプを登録します。

ファイル名の拡張子	MIME の種類	設定の要否
.mllayx	application/octet-stream	必須
.mlglex	application/octet-stream	任意
.mltblx	application/octet-stream	任意
.mlchkx	application/octet-stream	任意

## ■クライアント環境を構築する

### ① Internet Explorer のセキュリティを設定します。

下記のいずれかの方法で設定してください。

#### 1. 信頼済みサイトに登録する（推奨）

MLWebComponent を使用したページを信頼済みサイトに登録してください。

- ① 「インターネット オプション」を開く。
- ② セキュリティタブで「信頼済みサイト」を選択して、「サイト」をクリック。
- ③ 「この Web サイトをゾーンに追加する」に、ページの URL を入力し、「追加」をクリック。
- ④ 「閉じる」をクリック

#### 2. 個別に変更する

信頼済みサイトに登録せずに、セキュリティを個別に設定する場合は、下記の項目を有効に設定してください。設定項目の名称は IE のバージョンにより若干異なります。

##### ○ActiveX コントロールとプラグイン

- ActiveX コントロールとプラグインの実行
- スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールの実行
- 署名された ActiveX コントロールのダウンロード

## ○スクリプト

- アクティブ スクリプト

\*E10以降の場合、詳細設定の拡張保護モードが有効になっていると、ファイルのダウンロード（GetFile）に失敗します。拡張保護モードを無効にするか、セキュリティ設定の保護モードを無効にしてご利用ください。

## ② .NET Framework をインストールする。（Windows 7 の場合）

Windows 7 で.NET Framework 4.5.2 以降がインストールされていない場合は、別途.NET Framework 4.5.2 以降のインストールをお願いいたします。JavaScript を利用して自動的にチェックしてインストールを案内することも可能です。利用方法はサンプルプログラムをご参照ください。

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/dotnet/framework/install/guide-for-developers>

## ■プリンタフォント用のフォントファイルを配布する

プリンタフォントは、プレビュー時にサトープリンタ専用フォント「SPF フォント」を利用します。プリンタフォントを使用する場合は、アプリケーションと共に「SPF フォント」を配布して、実行環境に「SPF フォント」をインストールしてください。「SPF フォント」が実行環境にない場合、Windows のデフォルトフォントが使用されます。

「SPF フォント」はテクニカルサポートサイトにて提供しております。

<http://dcs.sato.co.jp/mlv5web/support/index.asp>

## 4-2

## バージョンアップを行う

■サーバ環境 ■クライアント環境

## ■サーバの PreviewComponent を更新する

- ①MLPreviewComponent のセットアップ「PreviewComponent -Installer-ja.exe」を入替える。
- ②Javascript でバージョン確認を行っている場合、バージョン番号を書換える

## ※Ver.5.6.1.0 以前のバージョンから Ver.5.7.0.0 以降へ入替える場合

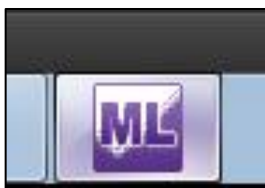
Ver.5.7.0.0 からインストーラに包含していた.NET Framework 4.0 のインストーラを削除しました。PreviewComponent を既にご利用のお客様には影響ございませんが、**Windows 7 で.NET Framework 4.5.2 以降がインストールされていない環境**に新規導入する場合には、別途.NET Framework 4.5.2 以降のインストールをお願いいたします。JavaScript を利用して自動的にチェックしてインストールを案内することも可能です。利用方法はサンプルプログラムをご参照ください。

## ■クライアントの PreviewComponent を更新する

- ①MLPreviewComponent を利用したページを開く  
(既にページを開いている場合は、更新ボタンまたは F5 でページを更新します)
- ②「インストール」をクリック



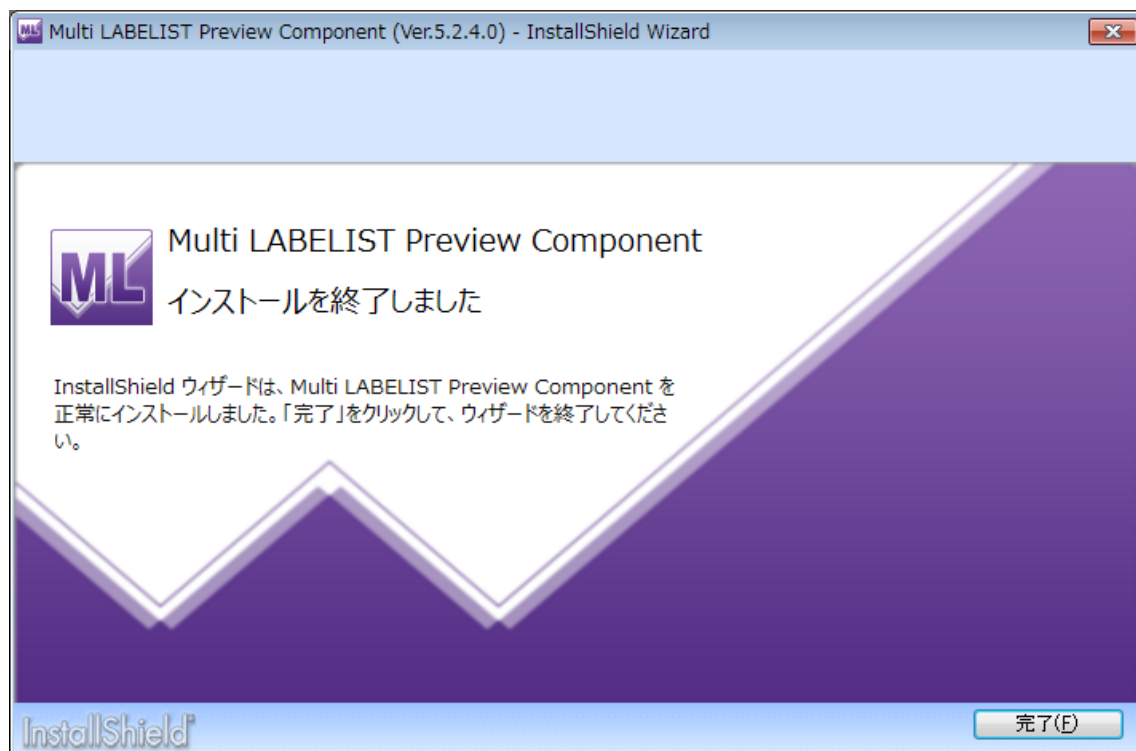
- ③タスクバーの ML アイコンをクリック



④ 「インストール」をクリック



⑤ 「完了」をクリック



⑤ ページが表示されれば完了です。

## 4-3

## バージョンを確認する

■プロパティ ■ファイルバージョン

## ■Version プロパティで取得する

Version プロパティで取得できる情報からバージョン番号を確認できます。

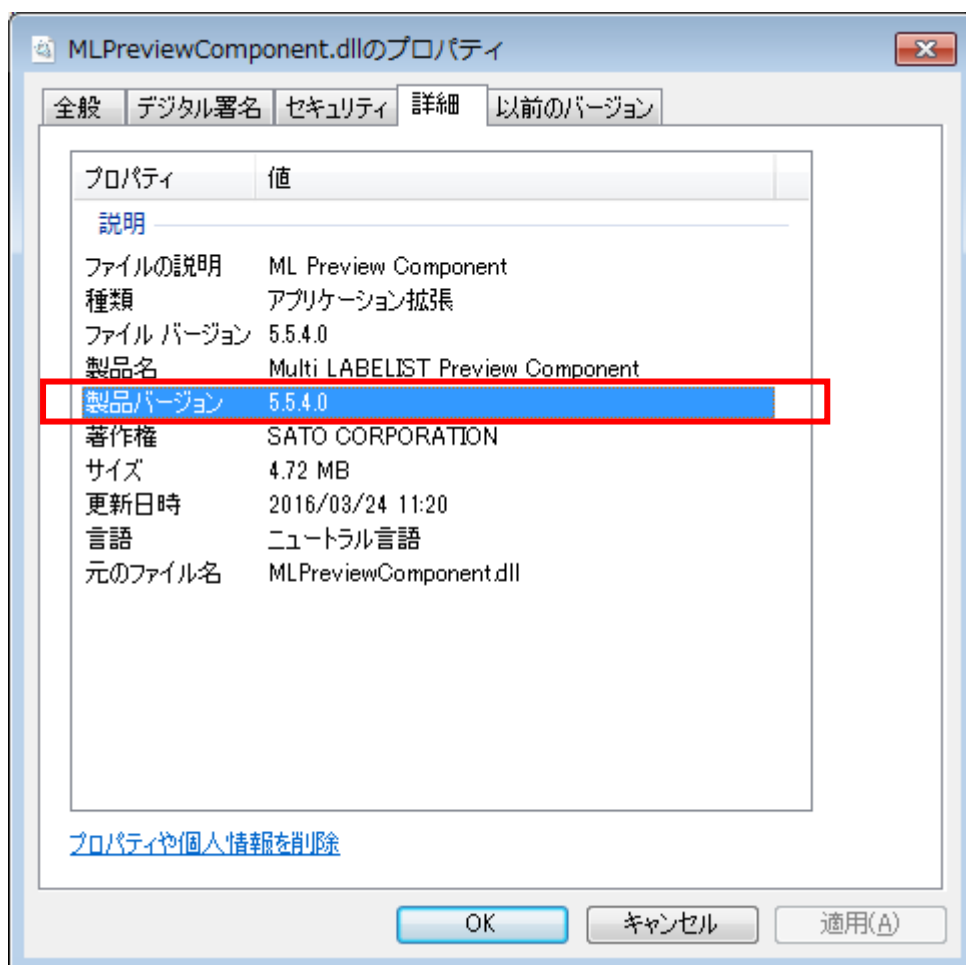
Multi LABELIST Preview Component, Version **5.x.x.x**

## ■バージョン確認を行ってバージョンアップを通知する

クライアントにインストールされているバージョンを Version プロパティで確認することで、指定したバージョンより古い場合にバージョンアップを通知することができます。利用方法はサンプルプログラムをご参照ください。

## ■ファイルのプロパティで確認する

PreviewComponent がインストールされている環境で、インストール先にある「MLPreviewComponent.dll」のファイルプロパティで確認できます。



## 4-4

## データを一括で入力する

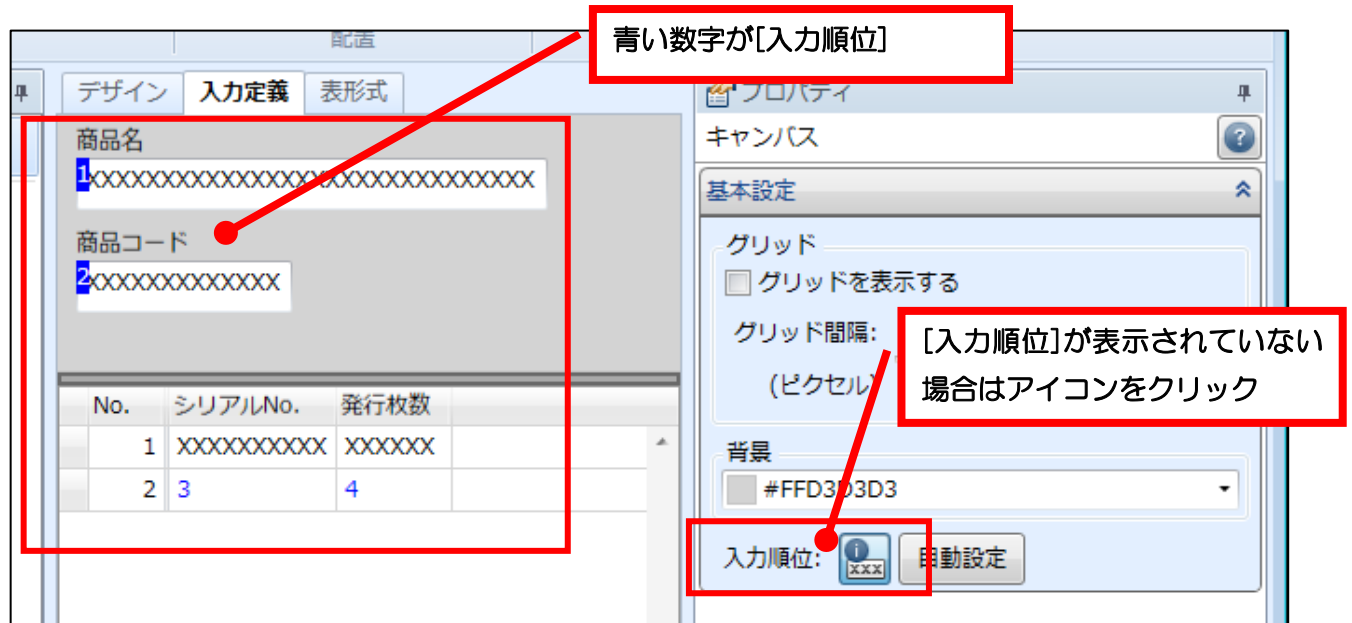
■入力順位 ■データ形式 ■複数データ

指定したデータ形式に従って、一括でデータを入力します。プリンタドライバを利用する場合は、1つのデータだけでなく、複数のデータを一括して入力することもできます。

順番を意識せず変数名で入力したい場合は「[データを変数名で指定して入力する](#)」をご確認ください。

## ■入力順位

まずデータを入力する順番を、MLデザインの入力定義で[入力順位]を表示させて確認します。



## • サンプルコード

```
//入力データ指定
//商品名、商品コード、シリアル No.、発行枚数を順番に入力
MLPreviewComponent.PrnData =
    "SG412R-ex" + "¥t" + "490310999999" + "¥t" + "RX00007802" + "¥t" + "3";
```

## ■データ形式

デフォルトではタブ区切り（TSV形式）でデータを指定しますが、カンマ区切りのCSV形式やスペース区切りのPRN形式でデータを指定することもできます。

### • サンプルコード（CSV形式）

```
//データ形式指定(CSV形式)
MLPreviewComponent.PrnDataType = 1;

//入力データ指定
MLPreviewComponent.PrnData = "SG412R-ex,490310999999,RX00007802,3";

//括弧文字""（ダブルクォーテーション）を使って改行コードも入力可能
MLPreviewComponent.PrnData =
    ""SG412R-ex は、" + ¥n + "高速発行が可能な 4 インチ堅牢型プリンタです。",1";
```

### • サンプルコード（PRN形式）

```
//データ形式指定(PRN形式)
MLPreviewComponent.PrnDataType = 2;

//入力データ指定
MLPreviewComponent.PrnData = "SG412R-ex 490310999999 RX00007802 3";
```

## 4-5

## データを変数名で指定して入力する

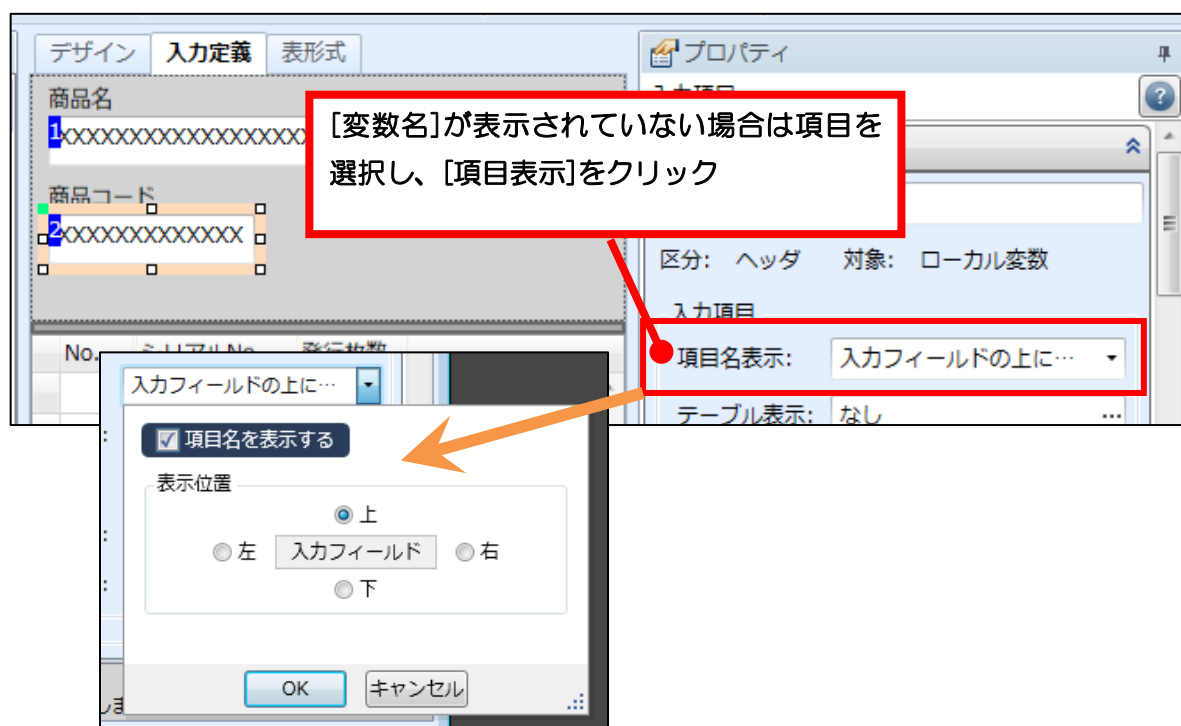
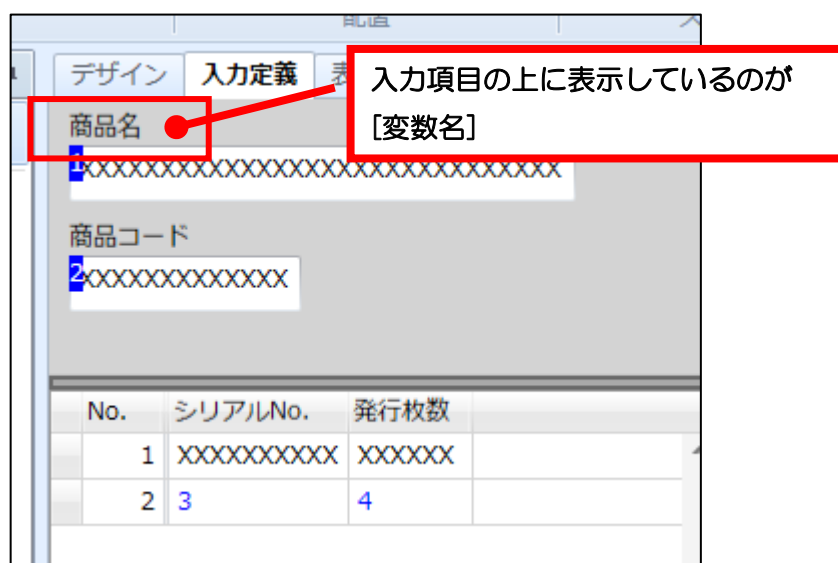
## ■変数名

変数名を指定してデータを入力します。変数名が共通しているレイアウトファイルを複数使う場合や入力順番が変更される可能性がある場合など、レイアウトファイルの入力順位を意識せずにデータを入力できます。

変数名を意識せず入力順位で簡単に入力したい場合は「[データを一括で入力する](#)」をご確認ください。

## ■変数名

まずデータ指定に必要な[変数名]を、MLデザインの入力定義で確認します。





• サンプルコード

```
// 「商品名」を入力  
MLPreviewComponent.SetPrnDataField("商品名", "SG412R-ex");  
  
// 「商品コード」を入力  
MLPreviewComponent.SetPrnDataField("商品コード", "490310999999");  
  
// 「シリアルNo.」を入力  
MLPreviewComponent.SetPrnDataField("シリアルNo.", "RX00007802");  
  
// 「発行枚数」を入力  
MLPreviewComponent.SetPrnDataField("発行枚数", "3");
```

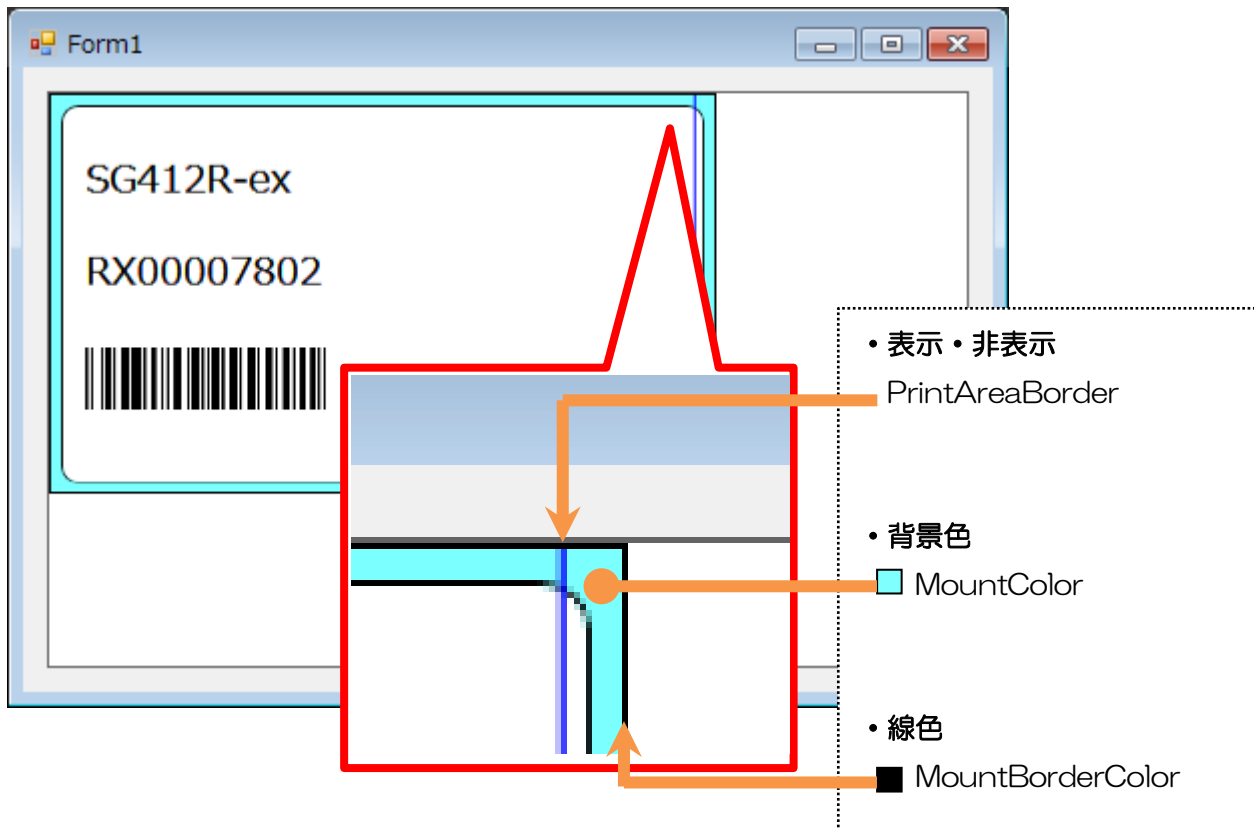
## 4-6

## プレビュー表示を変える

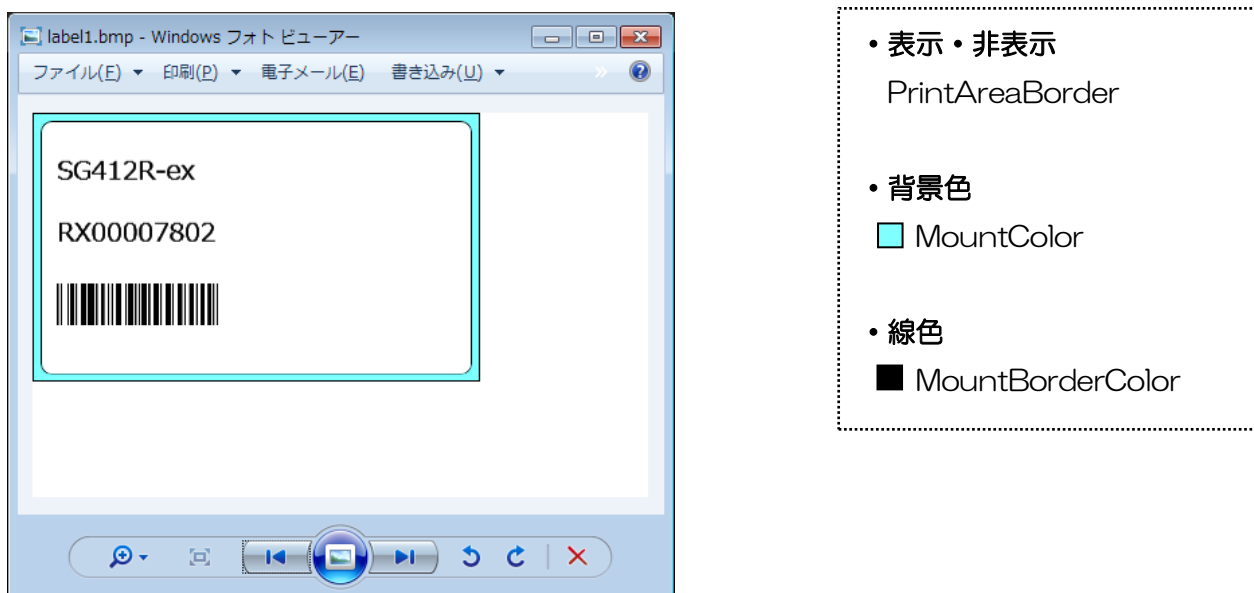
■MountColor ■MountBorderColor

プレビューする際の様々なオブジェクト（部品）の表示色を設定できます。  
プレビュー表示例を参考に、任意部分の色を自由に設定してください。

## ■プレビュー表示例



## ■ビットマップファイル出力例



## 4-7

## カラープリンタレイアウトを利用する

■PrinterCaption ■IsColorPrinter

## ■PrinterCaption を指定する

カラープリンタレイアウトを利用する場合は、必ず PrinterCaption プロパティを指定してください。

カラープリンタレイアウトは、プレビュー時に PrinterCaption プロパティで指定されたプリンタドライバから、用紙サイズや用紙方向、用紙トレイ、解像度を取得してプレビューを実行します。



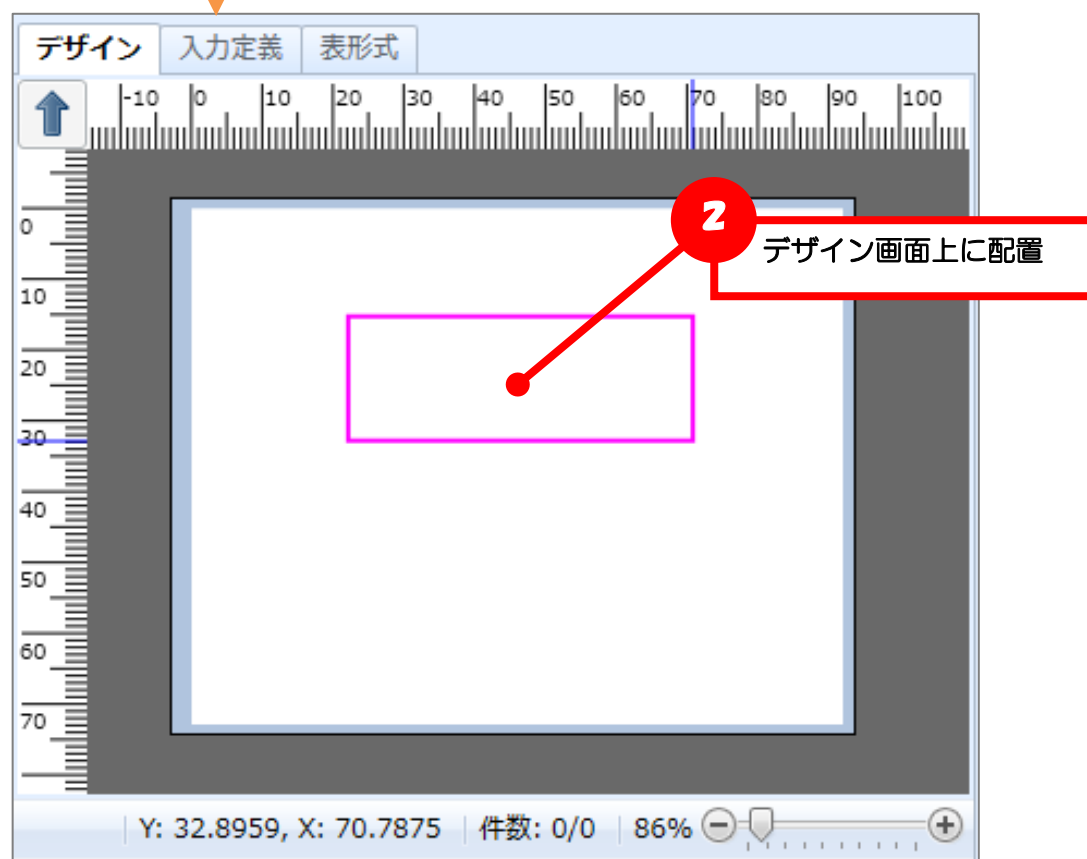
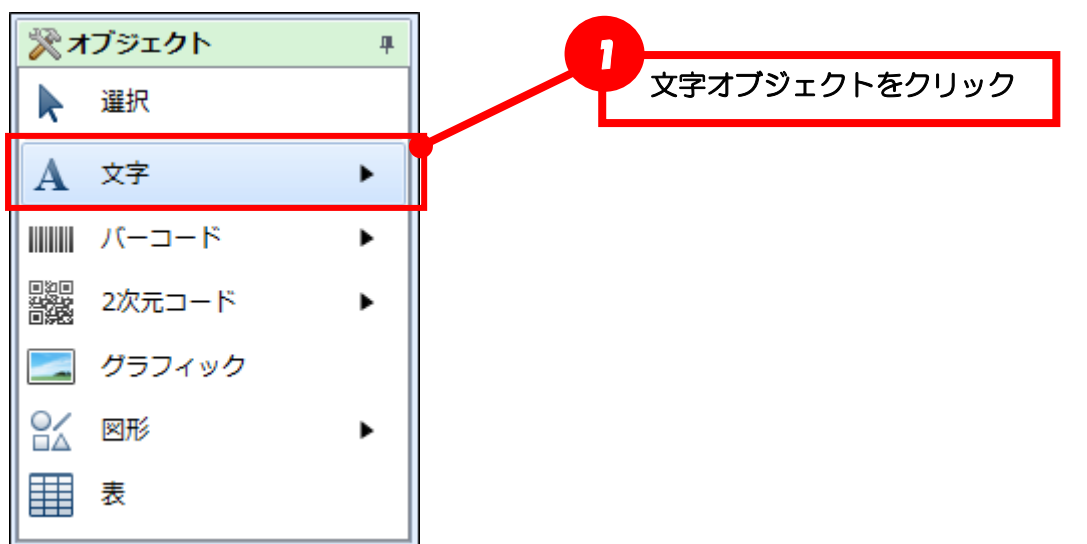
## 4-8

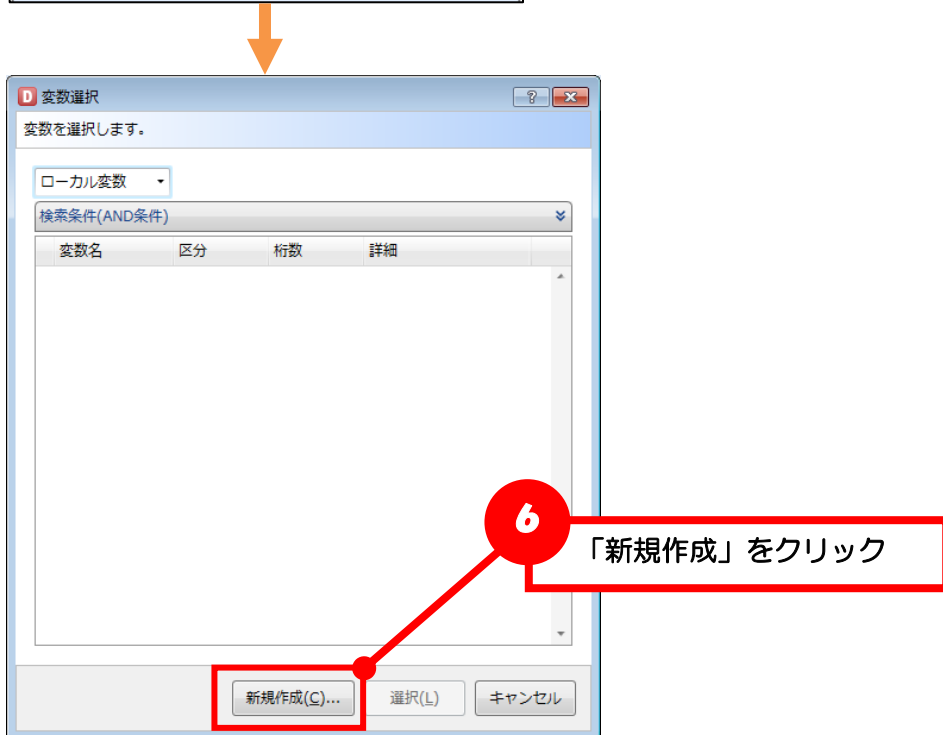
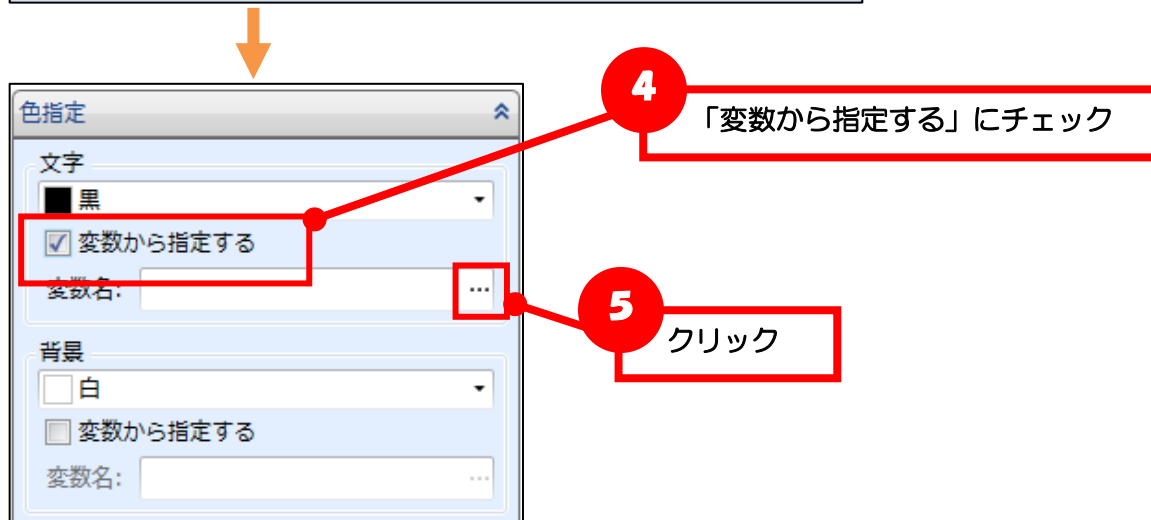
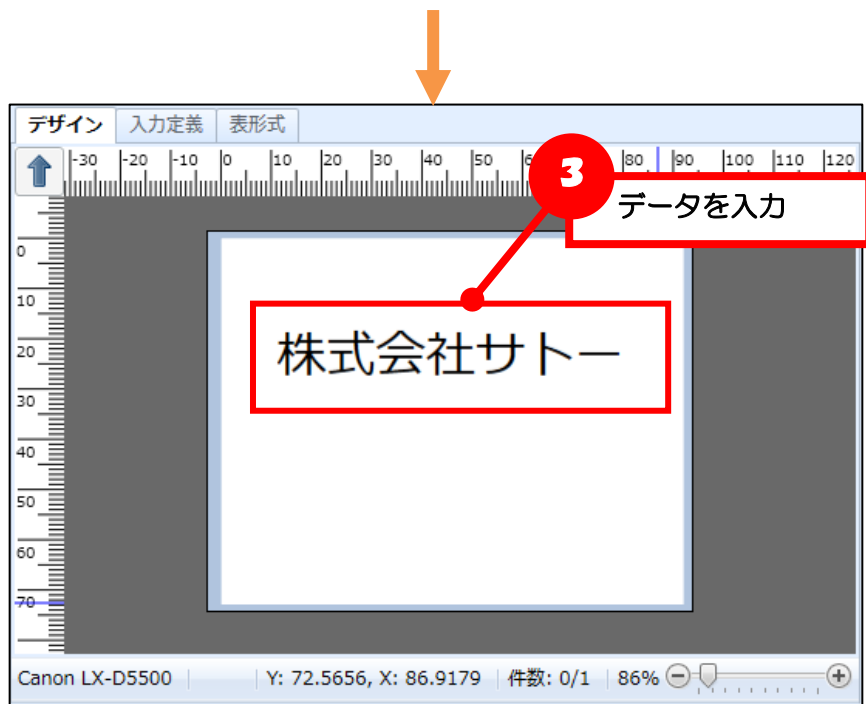
## 発行時に文字や枠線などオブジェクトの色を指定する

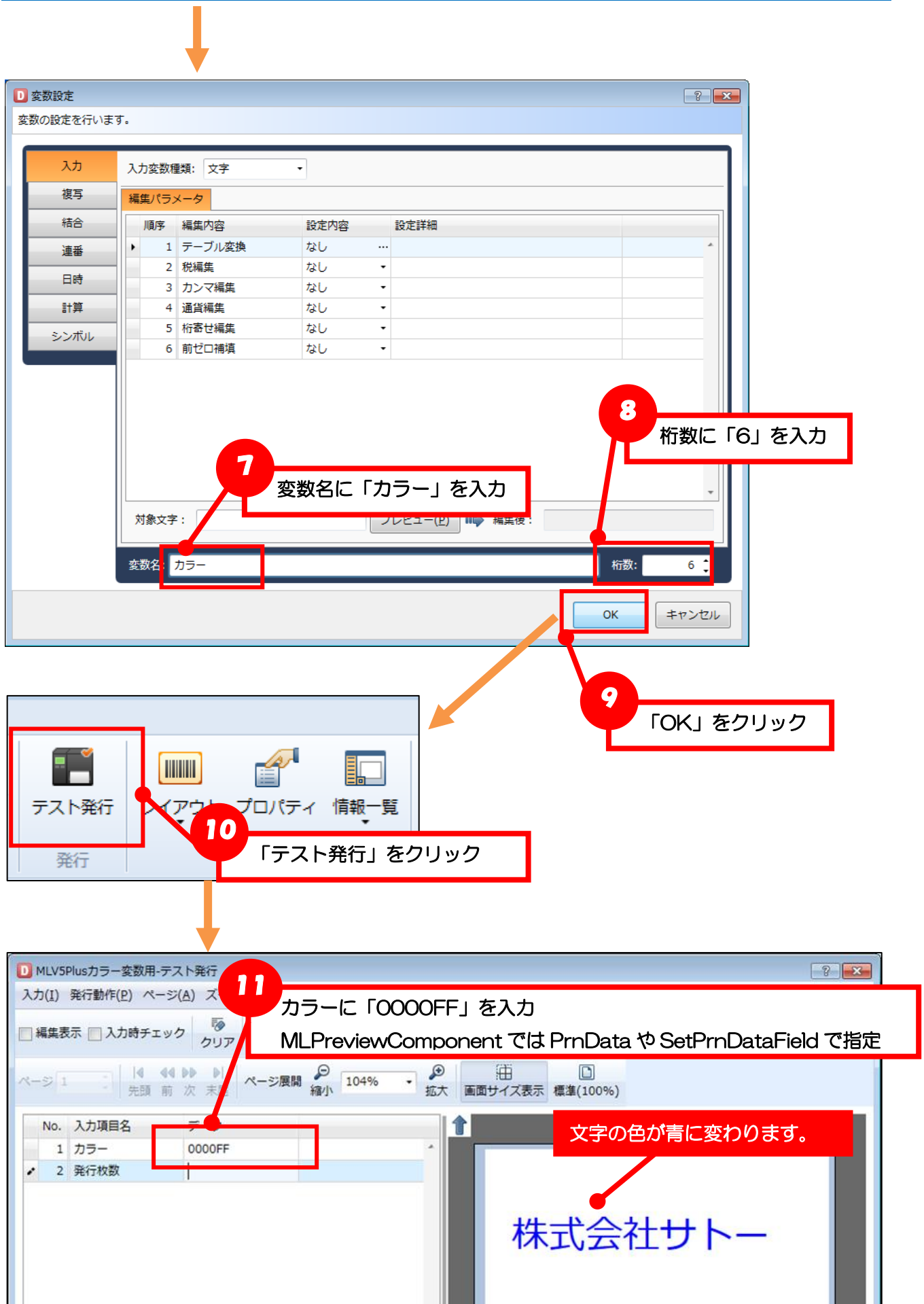
■オブジェクトの色指定 ■色の指定方法

オブジェクトの色指定を変数に設定することで、発行時に文字や枠線を任意の色に変更できます。

## ■発行時にオブジェクトの色を指定する







## ■色の指定方法

発行時に入力する色は 16 進数カラーコード（ARGB 値）またはカラーネームで指定します。

16 進数カラーコードは以下の書式で入力します。







A R G B （A：透明度 R：赤 G：緑 B：青）

入力桁	書式	入力例	色
3 桁	rgb	00F (⇒0000FF)	
4 桁	argb	5F00 (⇒55FF0000)	
6 桁	rrggbb	569012	
8 桁	aarrggbb	80569012	

カラーネームは、Windows Presentation Foundation で定義されている色名が使用可能です。

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/dotnet/api/system.windows.media.colors>

### 色の指定例

カラーコード		カラーネーム	イメージ
6 桁	3 桁		
FF0000	FOO	red	
FF8000	—	—	
FFFF00	FFO	yellow	
009900	O9O	—	
0000CC	OOC	—	
6600CC	6OC	—	

## 4-9

## 動作設定ファイルを利用する

## ■動作設定ファイル

MLPreviewComponentと同じフォルダに動作設定ファイルを配置することで、プロパティでは設定できない拡張設定が利用できます。設定値（XMLタグ）がない場合は、初期値が利用されます。

## ■ファイル名

MLPreviewComponentSettings.xml

## ■格納先

MLPreviewComponent.dllと同一フォルダ  
(通常は[プログラムフォルダ] – SATO – ML Preview Component)

## ■文字エンコーディング

Unicode (UTF-8)

## ■書式（記述例）

```
<?xml version="1.0"?>
<MLPreviewComponentSettings
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">
  <IsSheetCountError>false</IsSheetCountError>
  <TaxRate>5.0,8.0,...</TaxRate>
  <AlternativeFont>false</AlternativeFont>
  <DesignDefaultWindowsFontName>MS ゴシック</DesignDefaultWindowsFontName>
  <DesignDefaultWindowsFontSize>9</DesignDefaultWindowsFontSize>
  <IsFileForwardCompatibleError>true</IsFileForwardCompatibleError>
  <IsEnableGcCollectForced>false</IsEnableGcCollectForced>
  <GcCollectForcedThreshold>0</GcCollectForcedThreshold>
</MLPreviewComponentSettings >
```

## IsSheetCountError（発行枚数エラーの有効・無効）

発行枚数が指定されていない場合に、エラーとするかを設定します。PreviewOCX互換設定のため、通常は設定を変更せず、印字データで発行枚数を指定してください。

true(初期値)	PrnData プロパティまたはSetPrnDataRowメソッドで発行枚数が指定されていない場合に、Output メソッドがエラーNo.802となります。
false	発行枚数が未設定でも発行エラーとせず、発行枚数ゼロでプリンタコマンドを送信します。カット動作が機能しないなど問題が発生する可能性があります。通常は使用しないでください。

## TaxRate（税率の設定）

税編集で使用する税率を設定します。設定値はTaxRateプロパティをご参照ください。

緊急対応用として用意している設定値です。通常はTaxRateプロパティで指定してください。



**AlternativeFont (代替フォント使用の有効・無効)**

レイアウトで使用しているWindowsフォントがない場合に、代替フォントを使用するか設定します。

true	代替フォントが利用されます。 デザイン時に指定したフォントと異なるフォントでプレビューされるため、文字の形状やサイズ、自動改行位置が異なります。通常は発行環境に該当フォントをインストールするか、フォントを変更するなどの対応を行ってください。
false(初期値)	OutputメソッドがエラーNo.600となります。

**DesignDefaultWindowsFontName (デフォルトフォントのフォント設定)**

代替フォントに使用されるデフォルトフォントのフォントをWindowsフォント名で設定します。

本設定がない場合は、OSのデフォルトフォントが利用されます。

**DesignDefaultWindowsFontSize (デフォルトフォントのフォントサイズ設定)**

代替フォントに使用されるデフォルトフォントのフォントサイズをポイント数で設定します。

本設定がない場合は、OSのデフォルトフォントサイズが利用されます。

**IsFileForwardCompatibleError (ファイルバージョンチェックの有効・無効)**

レイアウトのファイルバージョンがMLPreviewComponentより新しい場合に発行エラーとするか設定します。

true(初期値)	発行エラー (No.61~66) となります。
false	エラーが発生しません。 レイアウトによっては、正常に印字されない危険性があります。ファイルバージョンチェックを無効にする場合は、レイアウトの新規追加・編集に充分注意し、変更後は運用前に必ず正常に印字されるかテストを行ってください。

**IsEnableGcCollectForced (メモリ自動解放の有効・無効)**

IEの使用メモリが閾値に達した場合にガベージコレクションによるメモリ解放 (GC.Correct) を実行します。閾値はGcCollectForcedThresholdで指定します。

true	自動解放を行います。
false(初期値)	自動解放を行いません。

**GcCollectForcedThreshold (メモリ自動解放の閾値設定)**

メモリ解放を行う閾値 (IEのメモリ使用量) を設定します。

0(初期値)	発行する度にメモリ解放を実行します。 発行速度が遅延するため、IEのメモリ使用量によって、適切な値に調整してください。
1~2048(MB)	IEが指定したメモリ使用量 (MB単位) を越えた場合に、メモリ解放を実行します。

## 第5章

# 注意事項

**5-1****注意事項**

■プリンタフォント ■プレビュー表示結果

**■Windows 7 での利用**

Windows 7 で .NET Framework 4.5.2 以降がインストールされていない場合は、別途 .NET Framework 4.5.2 以降をインストールしてください。

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/dotnet/framework/install/guide-for-developers>

**■.NET Framework のバージョンについて**

古いバージョンの .NET Framework を利用すると、MLPreviewComponent が正常に動作しない場合があります。Microsoft でサポートされているバージョンをご利用ください。

<https://docs.microsoft.com/ja-JP/lifecycle/faq/dotnet-framework>

**■サーバサイドアプリケーションでの利用**

MLPreviewComponent はクライアントで動作させることを前提に開発・提供しており、マニュアル・サンプルは全てクライアントでの利用方法で記載しております。ASP.NET などサーバサイドアプリケーションでの利用は技術的には可能ですが、動作確認は行っておりません。ご利用の際は事前に十分な検証をお願いいたします。

**■Aero テーマの利用（表示が崩れる現象）**

コントロールパネルの個人設定で、「Aero テーマ」を選択している場合に、画面表示したプレビューをスクロールバーで移動すると、表示が崩れる現象（白くなる、一部重複するなど）が発生致します。個人設定を「ベーシックテーマとハイライトテーマ」に変更する、アプリケーションの画面をスクロールが発生しないサイズに変更する、スクロール後に Refresh メソッドで再描画するなどの方法で回避してください。

**■初回起動時・レイアウトファイルロード時の遅延**

MLPreviewComponent で使用している .NET Framework のライブラリがロードされるため、アプリケーション起動後に初めて MLPreviewComponent を呼び出す時、初めてレイアウト情報を読み込む時（Output メソッドや IsColorPrinter メソッドなど）に処理が遅延することがあります。

運用上で遅延が障害となる場合は、アプリケーションの起動時に MLPreviewComponent で仮のレイアウトを呼び出すなどの方法で回避をお願い致します。

**■プリンタフォント利用時の注意**

プリンタフォントは、プレビュー時にサトープリンタ専用フォント「SPF フォント」を利用します。プリンタフォントを使用する場合は、アプリケーションと共に「SPF フォント」を配布して、実行環境に「SPF フォント」をインストールしてください。「SPF フォント」が実行環境にない場合、Windows のデフォルトフォントが使用されます。

**■レイアウトファイルの入力定義について**

レイアウトファイルの入力定義（初期値や桁数制限、入力チェックなど）は、MLプリントの発行画面で

使用される設定項目です。お客様のアプリケーションで入力定義の設定を利用する場合は、MLWebComponentのGetInputFieldsで取得してください。

#### ■レイアウトファイルの連番変数について

レイアウトファイルに保存されている連番値の取得および変更はできません。MLV5で確認・変更を行ってください。お客様のアプリケーションで連番値の管理が必要な場合は、レイアウトファイルの連番保存方法を「なし」でご利用ください。

#### ■プレビューの表示結果について

MLPreviewComponentは発行したラベルのイメージをPCの画面上でプレビューするためのツールです。できる限り発行したラベルのイメージに近づけてプレビュー表示するようにしておりますが、プリンタとPCの解像度の問題やプリンタフォントの表示の問題などがあり、完全にラベルのイメージと一致したイメージを表示できるわけではありません。ご理解のほどお願いします。

例として、プリンタフォントで数字の「0」は、プリンタ側でスラッシュの有無を変更できますが、プレビューでは常にスラッシュ付の「0」が表示されます。

#### ■Windows フォントの全角スペースが.NET Framework のバージョンによって異なる

Windows フォントでシャープ有効時に全角スペースの幅が.NET Framework のバージョンによって若干異なります。PCの入替えやOSのバージョンアップにより、.NET Framework が4.6.2より前のバージョンから、4.6.2以降にバージョンアップする場合、全角スペースが複数使われていると印字位置がずれる可能性があるため、自動改行の位置など印字内容に影響がないかご確認ください。

#### ■Windows フォント (WPF) の使用について

Windows フォント (WPF) を MLComponent、MLWebComponent、MLPreviewComponent で利用する場合、発行またはプレビュー実行中に、お客様のアプリケーションで.NET Framework (WPF) の文字描画 (DrawingContext.DrawText などの文字描画 API) を同時に実行しないでください。Windows 内部で発生する現象により、まれに入力した文字と異なる文字が印字される可能性があります。